

平成28年度 第1回水道事業経営審議会
次 第

日 時 平成28年9月29日(木) 午後2時から
場 所 新潟市水道局 研修センター2階

1 開 会

- (1) 委員の退任・新任について
- (2) 新委員の紹介

2 議 事

- (1) 平成27年度水道事業会計決算報告について
- (2) 新・マスタープランの評価における配点の見直しについて
- (3) 新・マスタープラン(平成27年度)の評価について

平成28年度 第1回経営審議会

配布資料一覧

- 1 平成27年度水道事業会計決算報告について
 - (1) 平成27年度水道事業決算概況…………… 資料1
 - (2) 平成27年度水道事業会計決算説明…………… 資料2
 - (3) 平成27年度水道事業会計決算概要…………… 参考資料1
 - (4) 平成27年度決算審査意見（抜粋）…………… 参考資料2

- 2 新・マスタープランの評価における配点の見直しについて・資料3

- 3 新・マスタープラン（平成27年度）の評価について
 - (1) 新・新潟市水道事業中長期経営計画～新・マスタープラン～
前期実施計画（平成27年度）の取り組み状況…………… 資料4
 - (2) 新・マスタープラン事業評価管理シート
平成27年度評価結果…………… 資料5
 - (3) 新・マスタープラン2次評価結果一覧表…………… 資料6

平成 27 年度 水道事業決算概況

1 総括事項

今後 10 年間の事業運営の方針を示した「新・新潟市水道事業中長期経営計画（新・マスタープラン）」の初年度にあたる本年度は、新・マスタープランに掲げる諸施策の実現に向け、関係する事務事業を進めました。

本市水道事業が目指す三つの方向性の一つである「安全でおいしい水道水の供給」では、引き続き、国の水質基準よりも厳しい独自の管理目標値を設定して管理するとともに、水質検査機器の整備を進めるなど、水道水の水質管理の充実・強化に努めました。

「強靱な施設・体制による給水の確保」では、水道施設が、その機能を十分に発揮できるよう、更新周期（*）を超過した施設などの計画的な更新に努めるとともに、事故・災害対策の観点から、引き続き、巻浄水場系－戸頭浄水場系間の相互連絡管の整備を進めたほか、医療機関向け配水管の耐震化を進めました。

「環境の変化に柔軟に対応した健全な事業運営の持続」では、より多くのお客さまに水道事業について理解していただけるよう効果的な広報活動を進めるとともに、「水道モニター制度」や「水道事業経営審議会」を通じて、お客さま並びに有識者等の意見や提言を把握し、事業運営への反映に努め、人材育成では、現場対応力の強化などに向けて、水道局職員研修基本計画に基づく研修を着実に実施しました。

（*）更新周期：これまでの技術的知見を踏まえた、独自の耐用年数（法定耐用年数より長く設定）

2 配水量及び有収水量の状況

引き続き、水需要は減少傾向となっており、配水量は 101,812,927 m³（前年度比 174,205 m³, 0.17% 減）、有収水量は 96,130,230 m³（前年度比 261,038 m³, 0.27% 減）となりました。

有収率は 94.42% となり、前年度に比べ 0.09 ポイント低下しましたが、これは、うるう年の影響により 2 月 29 日の配水量の一部が翌年度の有収水量に計上されることによるもので、実質的には前年度並みの水準を維持しています。

3 主な建設改良事業の執行状況

主な建設改良事業の執行状況は、以下のとおりです。

1. 基幹管路更新事業	更新延長	4,452m	1,652,444,995 円
2. 基幹管路整備事業	布設延長	1,850m	301,865,800 円
3. 配水支管更新事業	更新延長	22,590m	2,313,364,840 円
4. 阿賀野川浄水場施設整備事業			25,010,000 円

4 決算の状況

事業収益 165 億 2,601 万円余（消費税込み 177 億 705 万 1 千円余）に対し、事業費は 145 億 1,763 万 5 千円余（消費税込み 151 億 9,286 万 3 千円余）となり、当年度純利益 20 億 837 万 4 千円余を計上しました。

また、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、70 億 900 万 9 千円余となり、これを積立金などの内部留保資金で補てんしました。

以上が平成 27 年度決算の概況ですが、引き続き、健全経営の維持に努め、新・マスタープランの基本理念である「すべてのお客さまに信頼される水道」を念頭に置き、諸施策を積極的に推進していきます。

平成 27 年 度

水 道 事 業 会 計 決 算 説 明 資 料

新 潟 市 水 道 局

1. 決算報告書 収益的収入

(決算書P2・3参照)

事業収益予算額 17,596,423,000円



営業外収益
1,386,683,000円
7.9%

特別利益
426,843,000円
2.4%

対予算増減額
110,628,629円
0.6%

事業収益決算額 17,707,051,629円



営業外収益
1,510,685,194円
8.5%

特別利益
438,299,658円
2.5%

営業収益

予算額 15,782,897,000円

決算額 15,758,066,777円

対予算増減額
△0.2%
△ 24,830,223円

うち 給水収益
△ 45,708,664円
他会計負担金
14,318,082円
その他営業収益
6,560,359円

内訳	金額	構成比
給水収益	14,994,550,336円	95.2%
他会計負担金	102,601,082円	0.6%
その他営業収益	660,915,359円	4.2%

営業外収益

予算額 1,386,683,000円

決算額 1,510,685,194円

対予算増減額
8.9%
124,002,194円

うち 受取利息及び配当金
315,525円
加入金
74,384,800円
雑収益
10,837,672円
消費税及び地方消費税還付金
28,000円
負担金交付金
△ 817円
長期前受金戻入
38,437,014円

内訳	金額	構成比
受取利息及び配当金	2,715,525円	0.2%
加入金	296,686,800円	19.6%
雑収益	104,092,672円	6.9%
消費税及び地方消費税還付金	28,000円	0.0%
負担金交付金	59,572,183円	3.9%
長期前受金戻入	1,047,590,014円	69.4%

特別利益

予算額 426,843,000円

決算額 438,299,658円

対予算増減額
2.7%
11,456,658円

うち 固定資産売却益
△ 1,000円
過年度損益修正益
2,354,089円
その他特別利益
2,505,600円
浄水汚泥等対策賠償金
6,597,969円

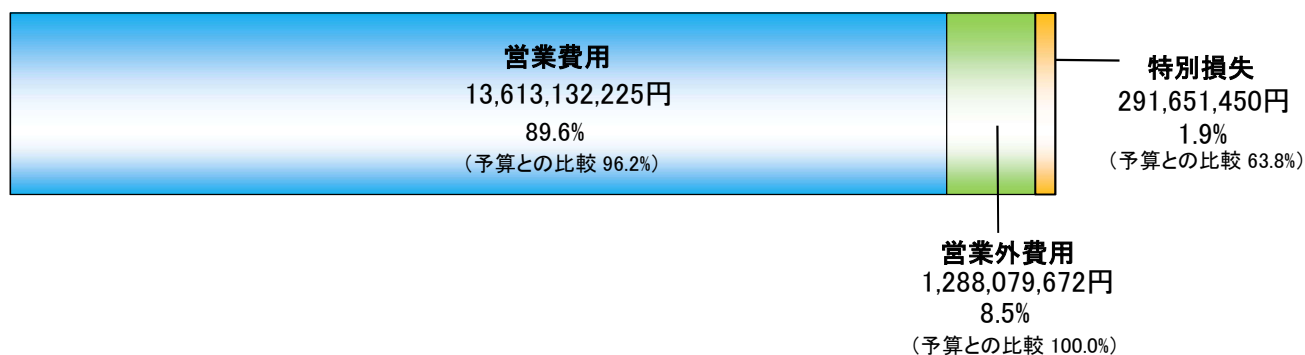
内訳	金額	構成比
過年度損益修正益	2,355,089円	0.5%
その他特別利益	2,505,600円	0.6%
浄水汚泥等対策賠償金	433,438,969円	98.9%

収 益 の 支 出

事業費予算額 15,897,077,000円



事業費決算額 15,192,863,347円



営業費用 13,613,132,225円

項目	金額(円)	構成比
1. 職員給与費	2,436,508,809円	17.9%
2. 委託料	1,847,464,598円	13.6%
3. 修繕費	1,549,456,548円	11.4%
4. 動力費	655,309,909円	4.8%
5. 受水費	461,753,762円	3.4%
6. 減価償却費	5,171,385,103円	38.0%
7. 資産減耗費	611,866,244円	4.5%
8. その他	879,387,252円	6.4%

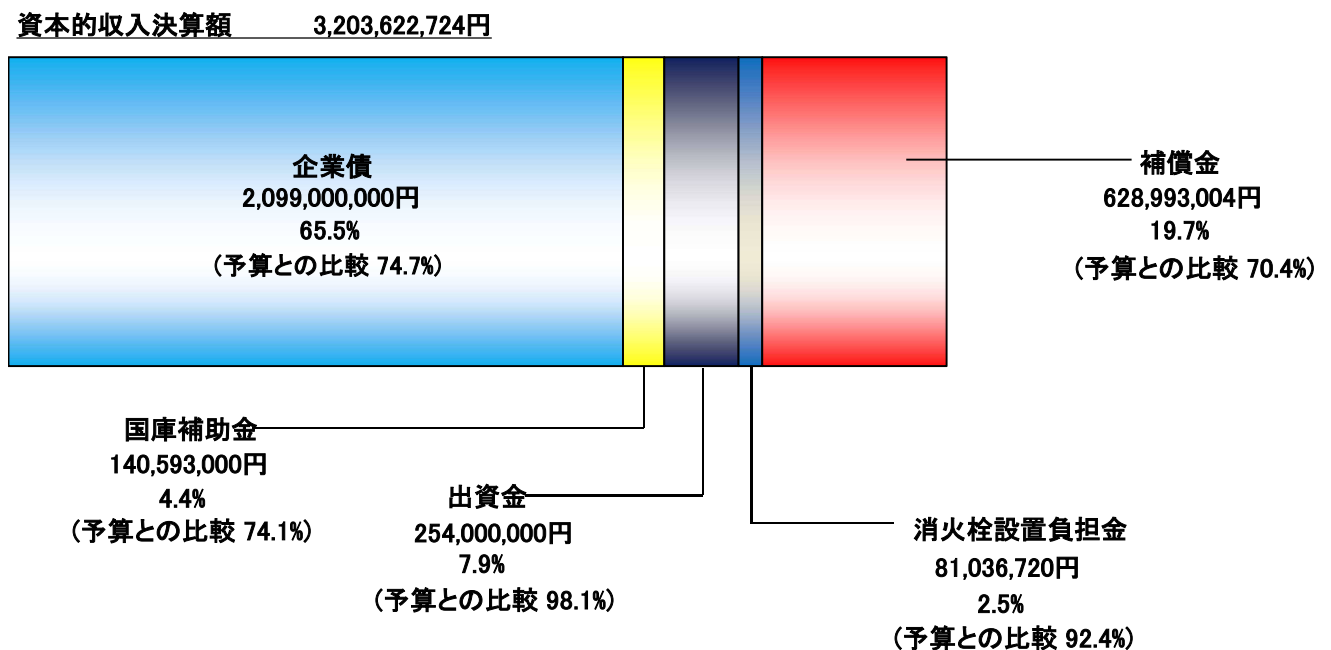
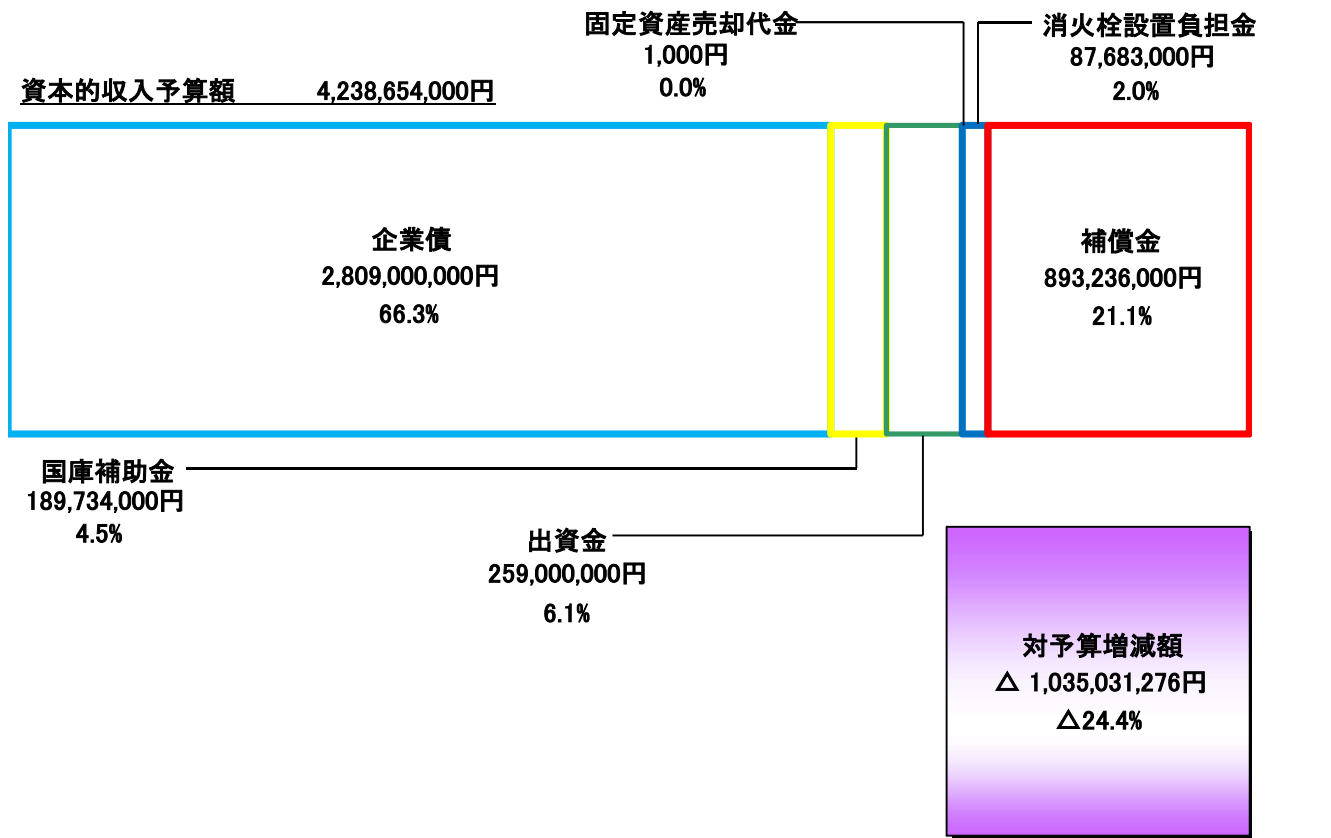
営業外費用 1,288,079,672円

項目	金額(円)	構成比
1. 支払利息	956,250,190円	74.2%
2. 消費税及び地方消費税	330,346,400円	25.7%
3. その他	1,483,082円	0.1%

特別損失 291,651,450円

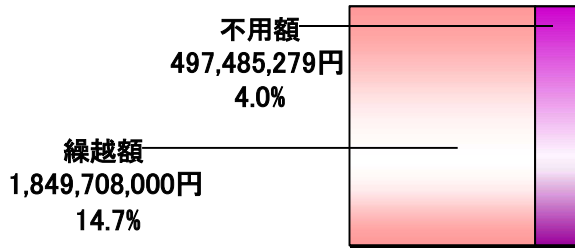
項目	金額(円)	構成比
1. 過年度損益修正損	3,525,987円	1.2%
2. その他特別損失	2,505,600円	0.9%
3. 浄水汚泥等対策費	285,619,863円	97.9%

資本的収入



資本的支出

資本的支出予算額 12,559,826,000円



資本的支出決算額 10,212,632,721円



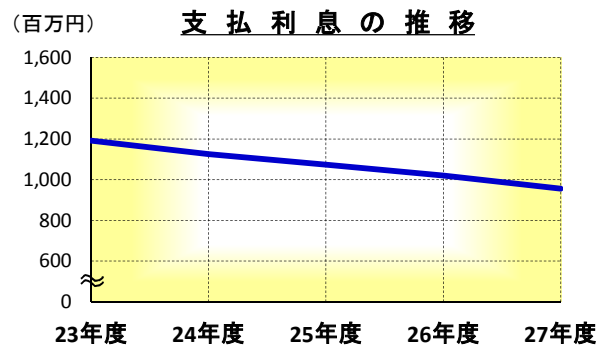
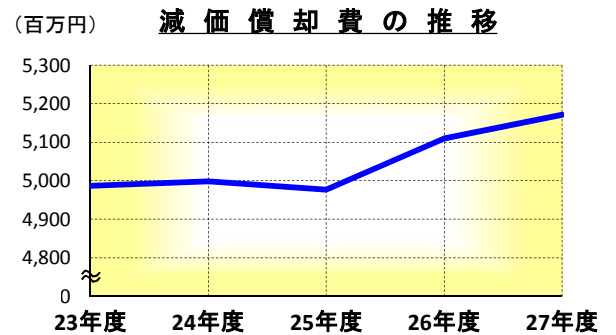
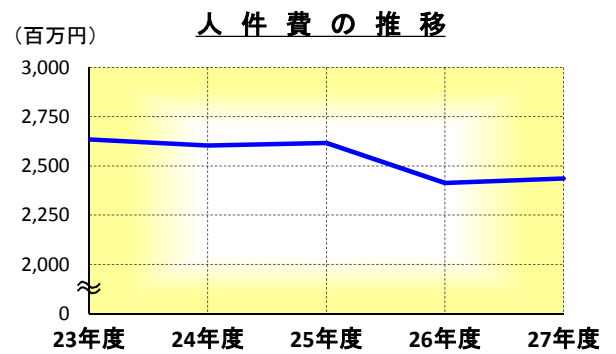
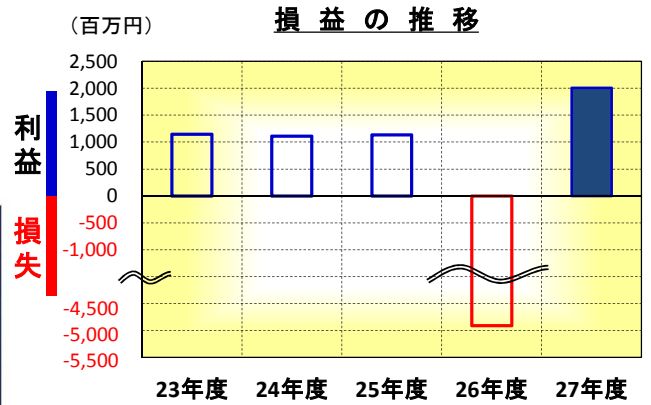
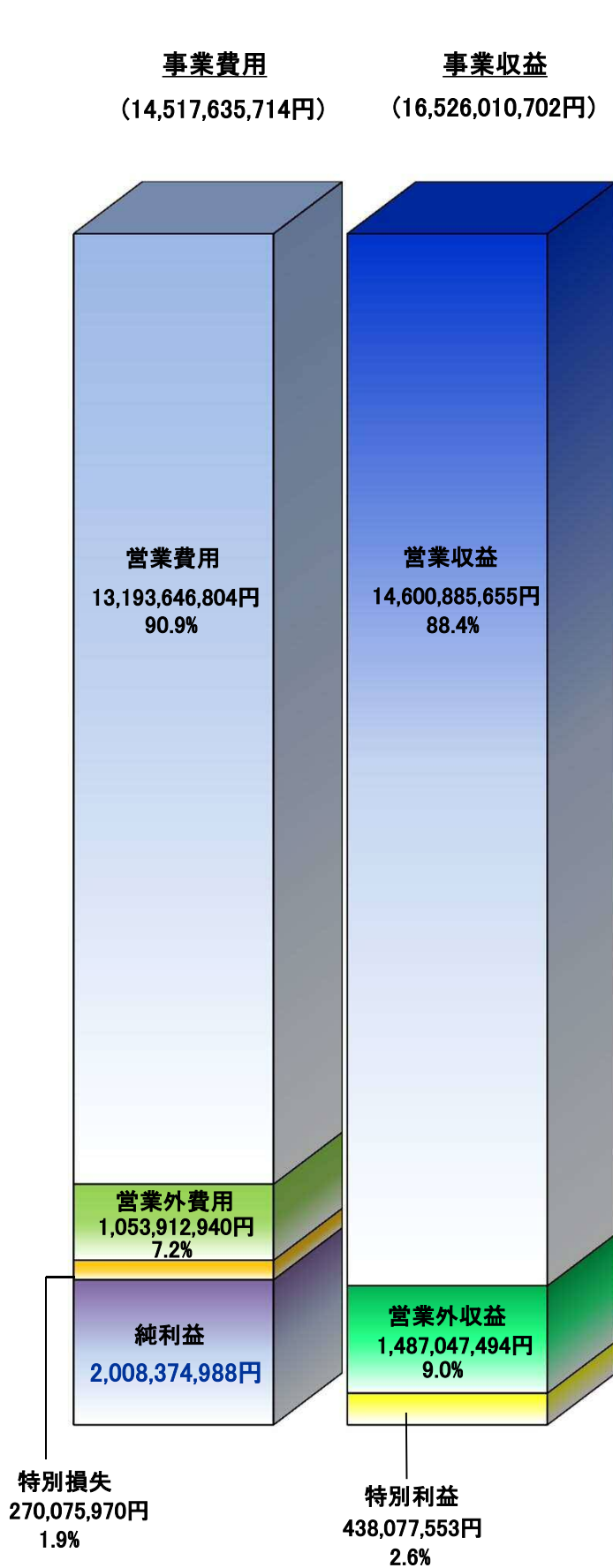
建設改良費の内訳 7,233,031,336円

	金額(円)	構成比(%)
1 原水施設費	390,888,363円	5.4%
2 浄水施設費	457,500,510円	6.3%
3 配水施設費	48,268,000円	0.7%
4 営業設備費	231,054,044円	3.2%
5 基幹管路更新費	1,530,817,855円	21.2%
6 基幹管路整備費	279,505,371円	3.9%
7 配水支管更新費	2,142,004,492円	29.6%
8 配水支管整備費	1,636,377,485円	22.6%
9 阿賀野川浄水場施設整備費	23,157,408円	0.3%
10 仮払消費税及び地方消費税	493,457,808円	6.8%

2. 財務諸表

(決算書P6参照)

損益計算書

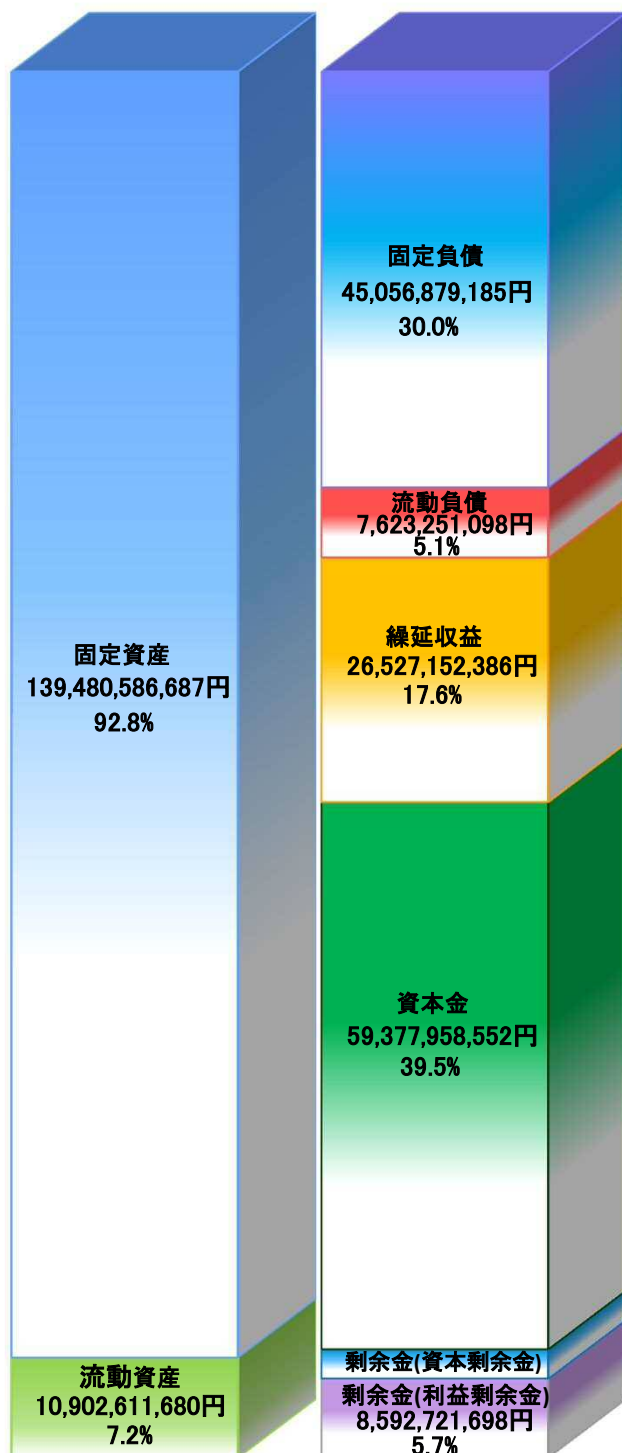


剰余金計算書 及び 剰余金処分計算書

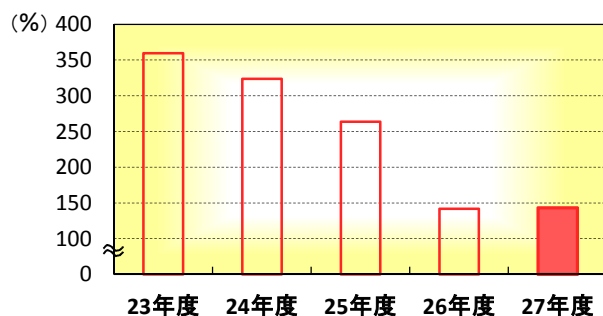
(単位 円)

年度		平成26年度	平成27年度
項目			
A 年度末残高	建設改良積立金	7,071,413,198	6,584,346,710
	未処分利益剰余金(繰越分)	1,131,849,814	0
	未処分利益剰余金 (その他未処分利益剰余金変動額)	14,234,590,455	0
	純利益(未処分)	△ 4,912,238,195	2,008,374,988
	計	17,525,615,272	8,592,721,698
B 当年度充当(処分)額	建設改良積立金	487,066,488	2,413,309,136
	繰越利益剰余金	0	0
	純利益	0	0
	計	487,066,488	2,413,309,136
年度末利益剰余金残高	建設改良積立金	6,584,346,710	4,171,037,574
	未処分利益剰余金		
	1)繰越分	1,131,849,814	0
	2)その他未処分利益剰余金変動額 〈新会計制度適用分〉	14,234,590,455	0
	〈建設改良積立金充当振替額〉	487,066,488	2,413,309,136
	3)純利益(未処分)	△ 4,912,238,195	2,008,374,988
計	17,525,615,272	8,592,721,698	
◎ 利益剰余金年度末残高	17,525,615,272円	8,592,721,698円	
◎ うち未処分利益剰余金年度末残高 (ア+イ)	10,941,268,562円 ↓ 議決処分	4,421,684,124円 ↓ 議決処分	
	資本金へ組入 (10,941,268,562円)	建設改良積立金へ積立 (2,008,374,987円) 資本金へ組入 (2,413,309,136円)	

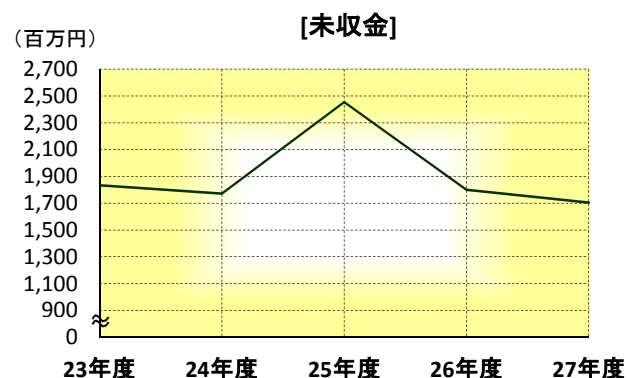
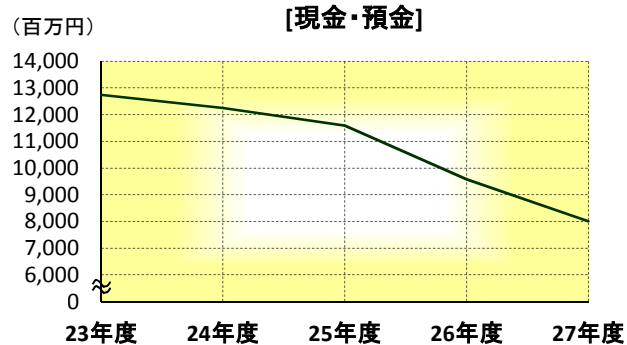
貸借対照表



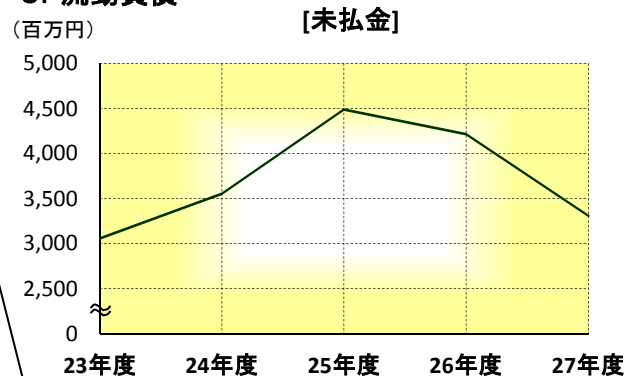
1. 流動資産と流動負債の割合(流動比率)



2. 流動資産



3. 流動負債



3,205,235,448円
2.1%

キャッシュ・フロー計算書〔間接法による〕

(単位 千円)

項 目	平成27年度	平成26年度	平成25年度
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	5,798,008	6,471,106	6,557,019
1 当年度純利益	2,008,375	▲ 4,912,238	1,131,850
2 減価償却費(+)	5,171,385	5,110,906	4,977,907
3 資産減耗費(+)	234,432	472,525	347,577
4 減損損失(+)	0	3,848,062	0
5 引当金の増加(+), 減少(▲)	▲ 217,148	2,719,432	▲ 38,919
6 長期前受金戻入額(▲)	▲ 1,101,825	▲ 1,173,805	0
7 受取利息及び受取配当金	▲ 2,716	▲ 3,164	▲ 3,807
8 支払利息及び企業債取扱諸費	956,250	1,020,488	1,074,959
9 固定資産売却益(▲), 損(+)	0	0	▲ 15,474
10 未収金の増加(▲), 減少(+)	▲ 35,662	479,223	▲ 548,012
11 未払金の増加(+), 減少(▲)	86,897	▲ 117,077	287,454
12 貯蔵品の増加(▲), 減少(+)	1,029	▲ 34,623	713
13 その他流動資産の増加(▲), 減少(+)	▲ 380,351	54,614	420,482
14 その他流動負債の増加(+), 減少(▲)	30,876	24,427	▲ 6,559
15 その他	0	▲ 340	0
小計	6,751,542	7,488,430	7,628,171
16 利息及び配当金の受取額	2,716	3,164	3,807
17 利息の支払額	▲ 956,250	▲ 1,020,488	▲ 1,074,959
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 6,806,319	▲ 8,143,481	▲ 7,203,853
1 有形及び無形固定資産の取得による支出(▲)	▲ 7,682,257	▲ 8,907,079	▲ 8,101,864
2 国庫補助金等による収入(+)	875,938	742,167	863,929
3 有形及び無形固定資産の売却による収入(+)	0	0	34,082
4 投資の返還による収入(+)	0	21,431	0
5 他会計からの短期貸付金償還金収入(+)	1,500,000	2,500,000	1,500,000
6 他会計への短期貸付金支出(▲)	▲ 1,500,000	▲ 2,500,000	▲ 1,500,000
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 564,207	▲ 339,629	▲ 11,798
1 企業債による収入(+)	2,099,000	2,153,000	2,763,000
2 企業債の償還による支出(▲)	▲ 2,979,601	▲ 3,056,784	▲ 3,183,798
3 他会計からの出資による収入(+)	360,000	580,000	409,000
4 リース債務の返済による支出(▲)	▲ 43,606	▲ 15,845	0
IV 資金増加額 (又は減少額)	▲ 1,572,518	▲ 2,012,004	▲ 658,632
V 資金期首残高	9,576,750	11,588,754	12,247,386
VI 資金期末残高	8,004,232	9,576,750	11,588,754

企業債現有高の状況

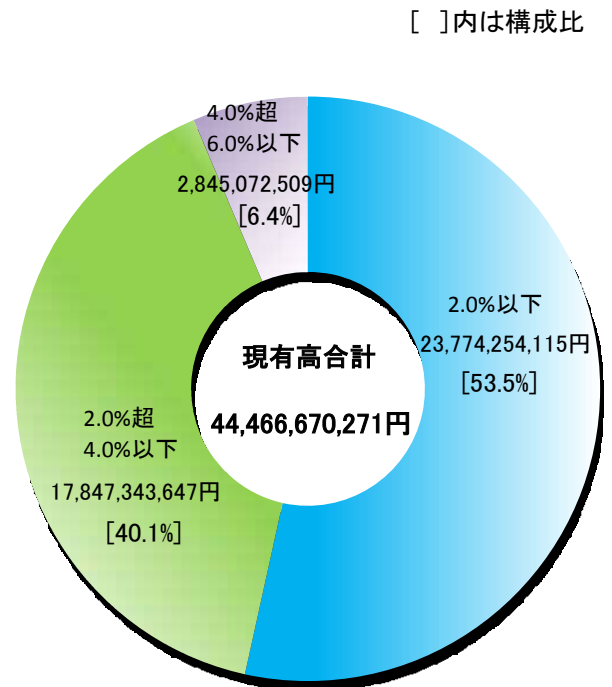
(1)借入事業別一覧

(単位 円)		
事業名	現有高	構成比
第5回拡張事業	576,046,639	1.30%
浄水場用地取得事業	1,400,846,804	3.15%
配水管整備事業	2,517,556,191	5.66%
青山浄水場施設改良事業	49,212,836	0.11%
配水管幹線整備事業	3,849,884,944	8.66%
信濃川浄水場建設事業	11,830,777,066	26.61%
広域系統連絡管整備事業	4,907,623,379	11.04%
老朽管改良事業	3,688,293,402	8.29%
基幹管路更新事業	750,000,000	1.69%
配水支管更新事業	1,000,000,000	2.25%
浄水施設改良事業	465,882,342	1.05%
安全対策事業	799,000,000	1.80%
青山浄水場施設整備事業	2,957,000,000	6.65%
阿賀野川浄水場施設整備事業	22,000,000	0.05%
黒埼地区上水道事業	11,320,062	0.03%
新津地区上水道事業	1,783,121,959	4.01%
白根地区上水道事業	2,641,776,395	5.94%
豊栄地区上水道事業	694,254,495	1.56%
小須戸地区上水道事業	991,421,937	2.23%
横越地区上水道事業	17,216,374	0.04%
亀田地区上水道事業	120,726,722	0.27%
岩室地区上水道事業	107,866,621	0.24%
西川地区上水道事業	410,317,461	0.92%
中之口・潟東地区上水道事業	111,265,636	0.25%
月潟地区簡易水道事業	451,010,030	1.01%
巻地区上水道事業	878,219,976	1.97%
高金利対策借換債	1,434,029,000	3.22%
合計	44,466,670,271	100.00%

(2)借入先別一覧

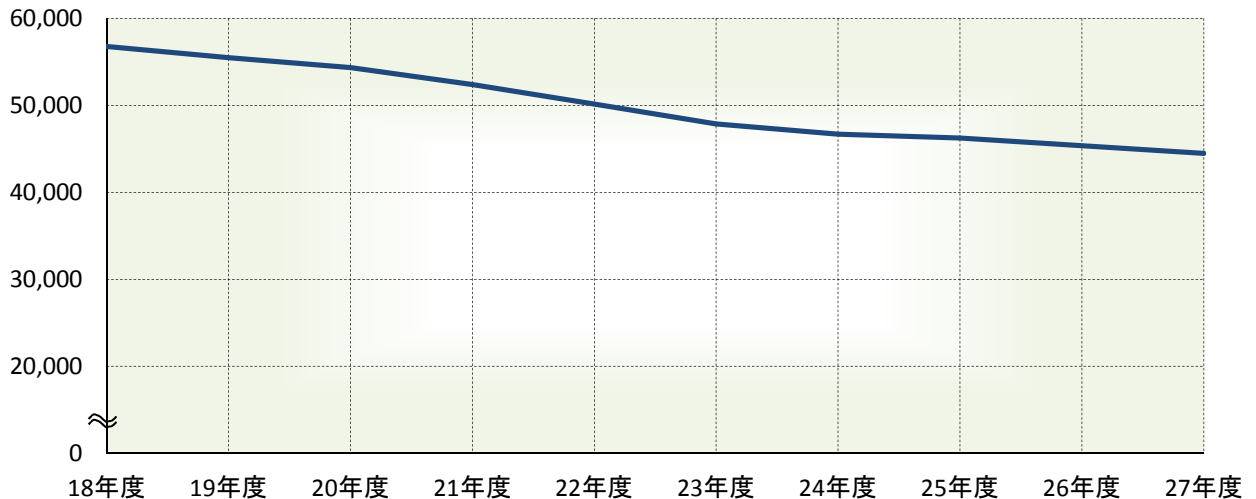
(単位 円)		
借入先	現有高	構成比
財務省	29,851,280,928	67.13%
地方公共団体金融機構	13,181,360,343	29.64%
(株)かんぼ生命保険	282,232,000	0.64%
(株)大光銀行	20,655,000	0.05%
信金中央金庫	1,131,142,000	2.54%
合計	44,466,670,271	100.00%

(3)利率別一覧

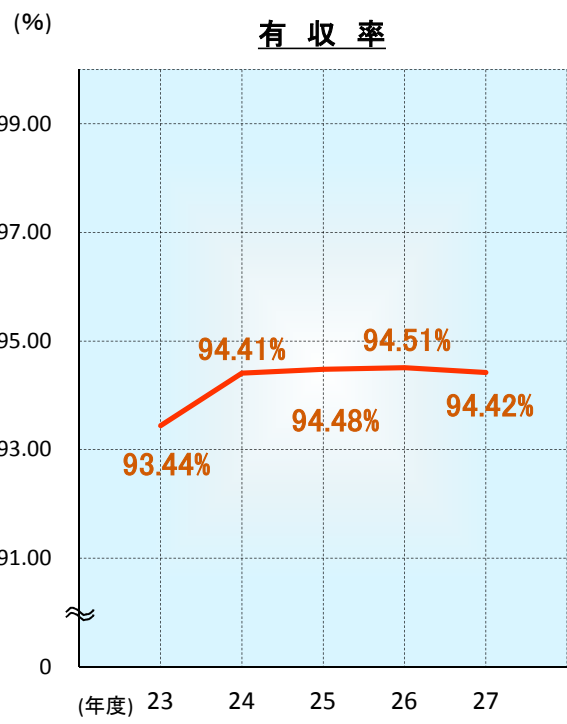
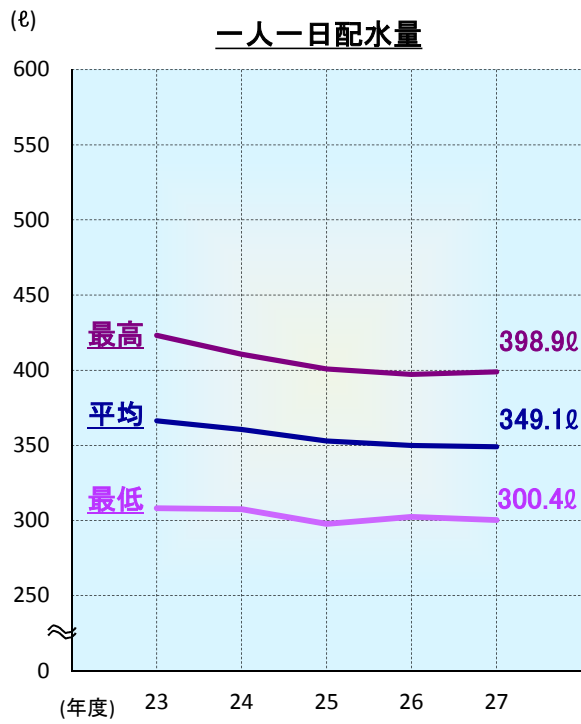
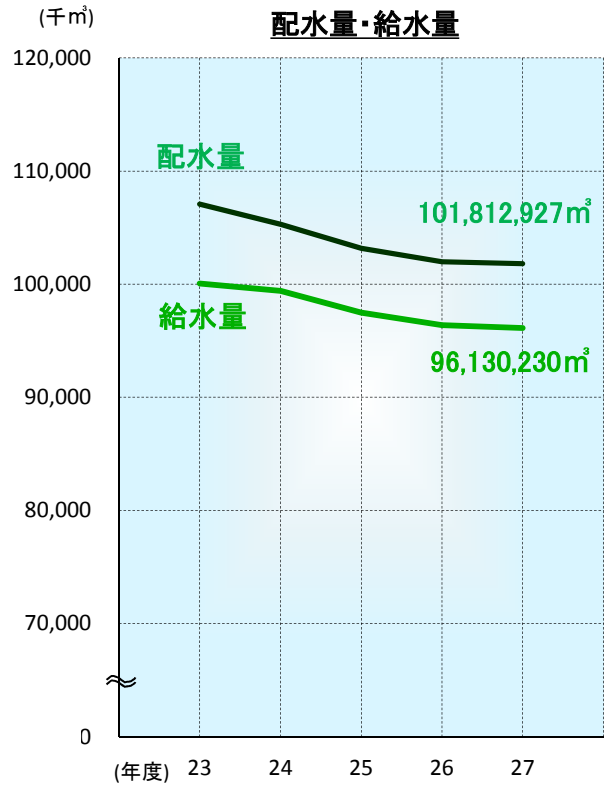
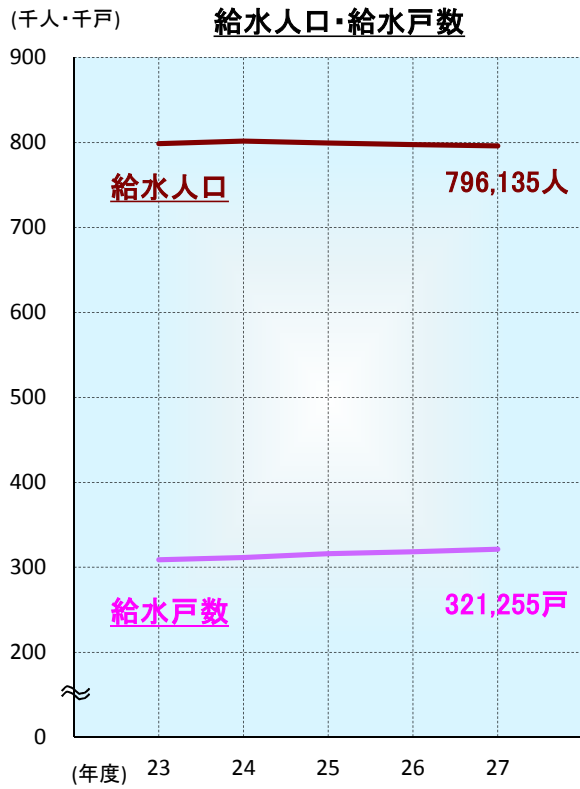


(百万円)

(4)現有高の年度別推移



3. 事業報告書



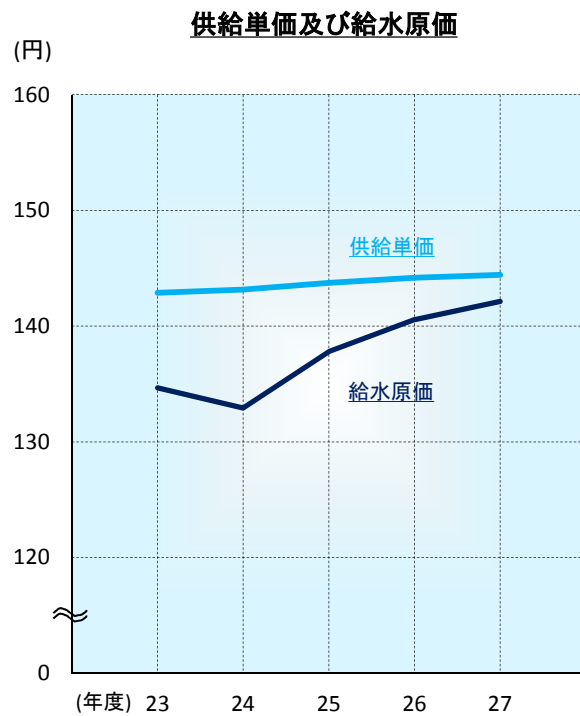
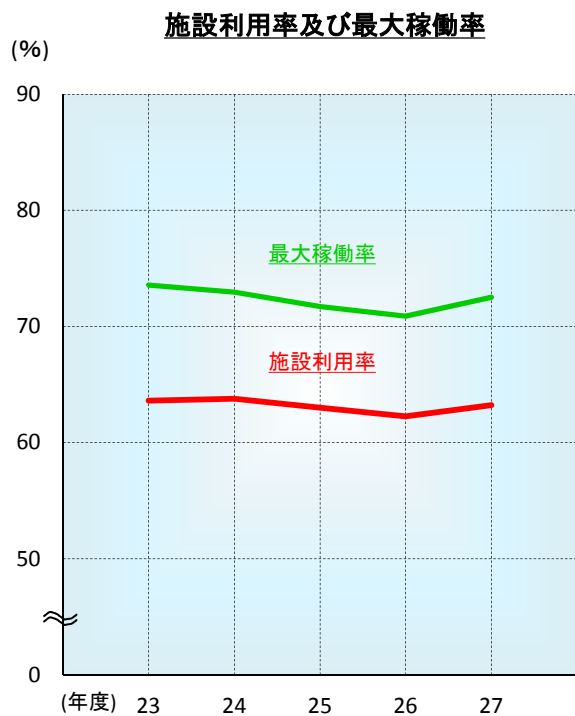
経営分析指標

項目		年度					政令指定都市 の事業平均 (平成26年度) ※2	
		23 ※1	24 ※1	25	26 ※1	27		
施設 及び 概況	施設利用率 (%)	64.68 (63.60)	64.29 (63.78)	63.00	63.50 (62.27)	63.22	61.05	
	最大稼働率 (%)	74.83 (73.57)	73.55 (72.96)	71.72	72.30 (70.90)	72.51	67.24	
	供給単価 (円/m ³)	142.89	143.17	143.74	144.18	144.43	167.41	
	給水原価 (円/m ³)	134.66	132.92	137.80	140.56	142.14	168.26	
	費用 構成 内訳	職員給与費 (円/m ³)	24.49	24.43	24.97	23.09	23.38	26.41
		企業債利息 (円/m ³)	11.92	11.32	11.03	10.60	9.95	11.24
		減価償却費 (円/m ³)	49.84	50.28	51.07	53.02	53.70	55.58
		動力費 (円/m ³)	5.13	5.23	5.92	6.76	6.31	5.13
		修繕費 (円/m ³)	13.04	11.97	13.60	14.35	14.92	10.11
		材料費 (円/m ³)	0.02	0.03	0.04	0.04	0.06	0.73
		薬品費 (円/m ³)	2.71	2.22	2.10	2.11	2.20	1.06
		委託料 (円/m ³)	12.59	12.06	14.23	14.21	14.33	14.54
		受水費 (円/m ³)	4.33	4.32	4.38	4.42	4.45	26.27
その他 (円/m ³)	10.59	11.06	10.46	11.96	12.84	17.19		
職員一人 あたり ※3	給水人口 (人)	2,832 (2,645)	2,853 (2,655)	2,806 (2,596)	2,760 (2,565)	2,774 (2,465)	3,256	
	給水量 (m ³)	354,826 (331,328)	353,787 (329,186)	342,014 (316,474)	333,534 (309,940)	334,949 (297,617)	344,694	
	営業収益 (千円)	53,110 (49,592)	52,914 (49,235)	51,669 (47,811)	50,458 (46,889)	50,874 (45,204)	60,324	
損益 収支・ 資本 収支	総収支比率 (%)	108.06	107.83	107.82	77.76	113.83	102.75	
	経常収支比率 (%)	108.05	107.16	104.63	110.86	112.92	114.43	
	料金収入に 対する比率	企業債償還元金 (%)	23.30	23.06	22.72	22.00	21.46	20.09
		企業債利息 (%)	8.34	7.91	7.67	7.34	6.89	6.75
		職員給与費 (%)	17.14	17.07	17.37	16.02	16.19	16.01

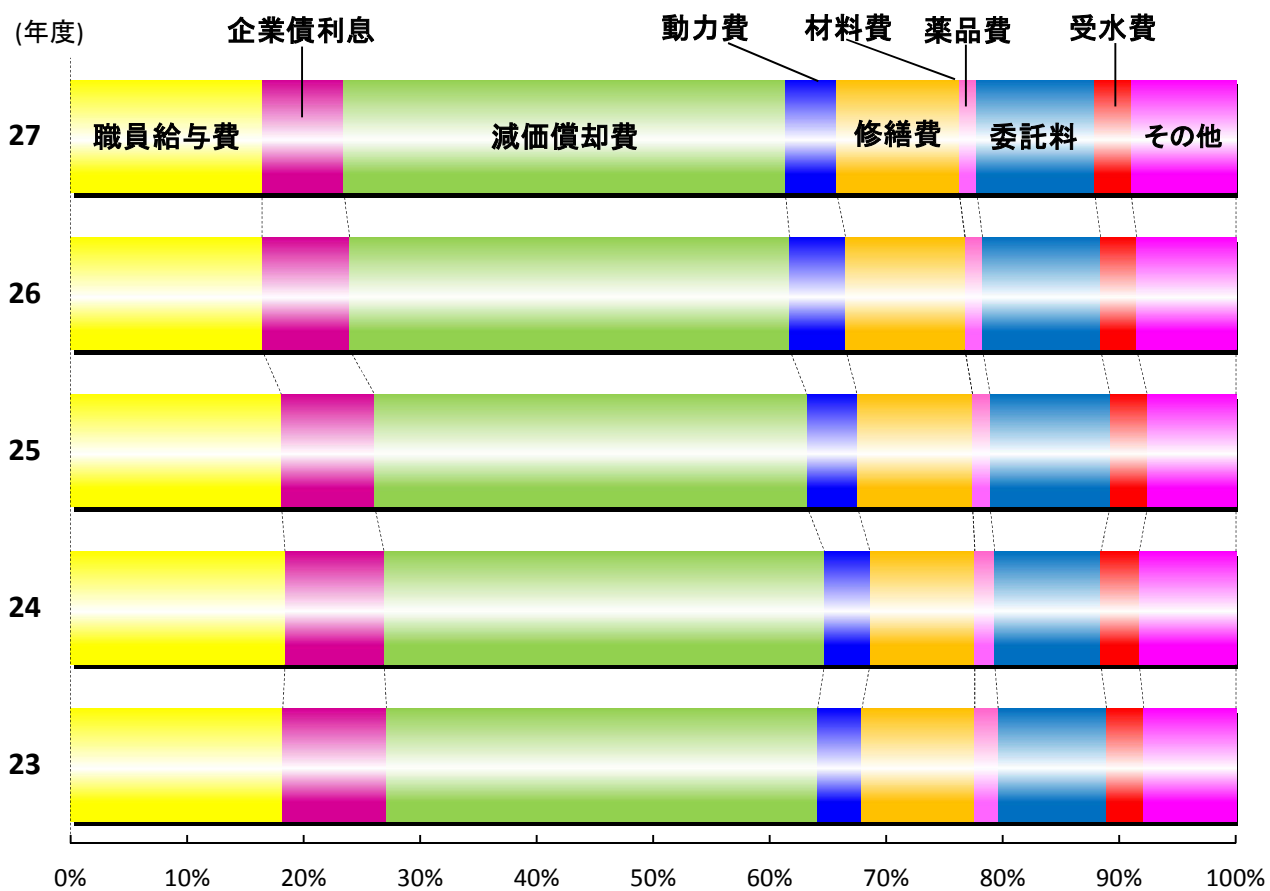
※1 ()内は年度途中で廃止した浄水場を含んだ数値

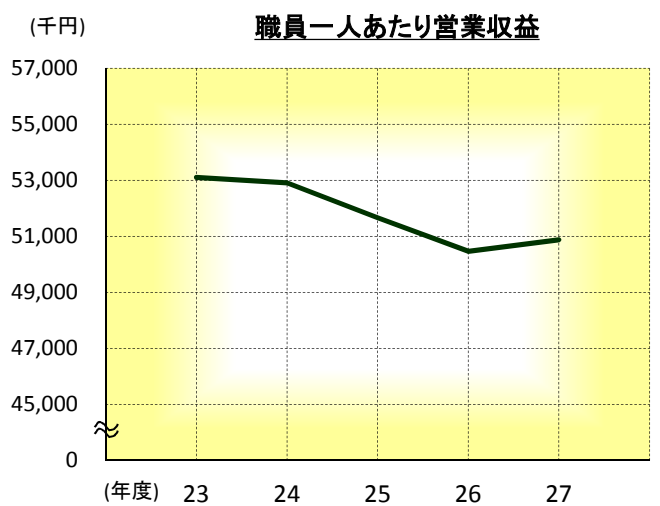
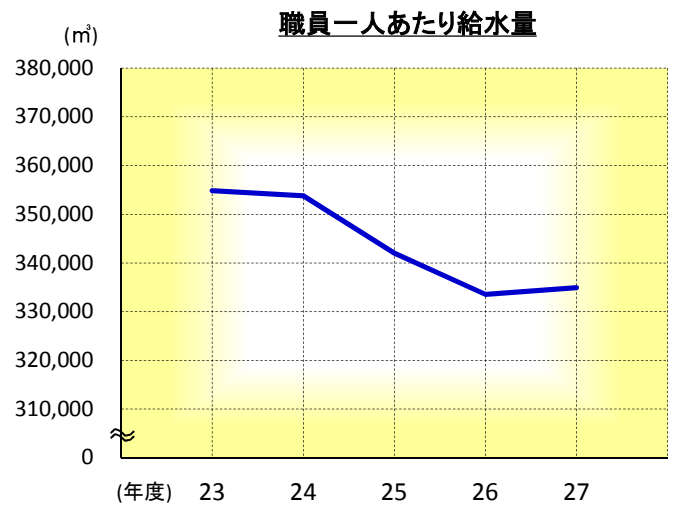
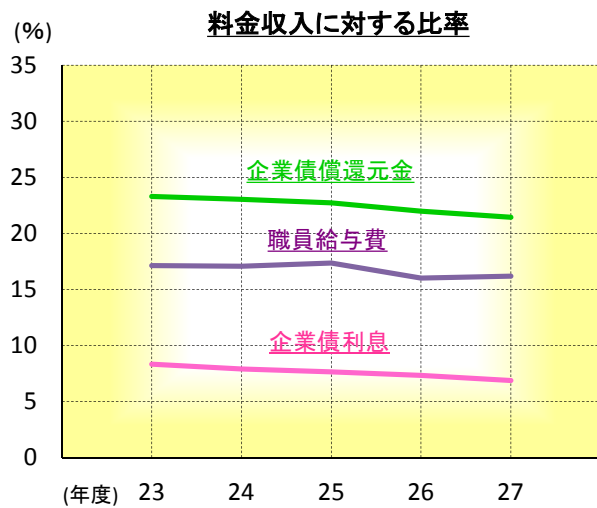
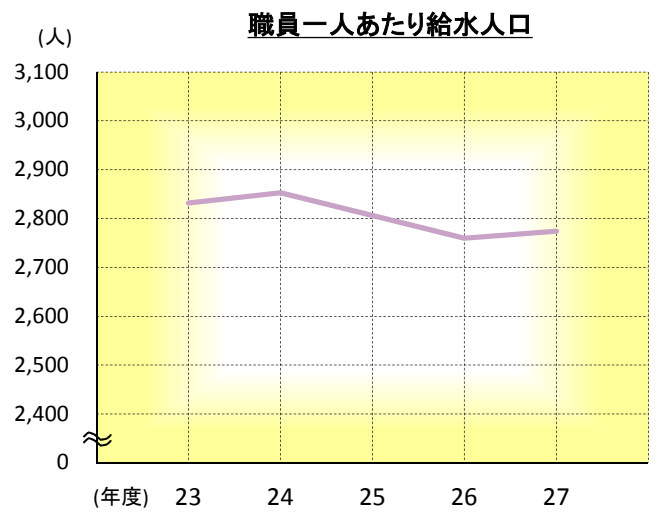
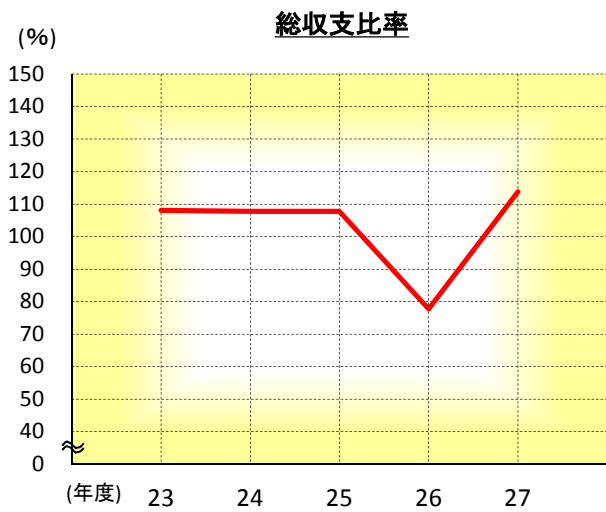
※2 千葉市・相模原市については大半が県営水道のため除く。

※3 局長及び再任用職員を含まない損益勘定支弁職員数により算出, ()内は再任用職員数を含む



給水原価の費用構成比推移





※職員数には再任用職員は含まない。

平成27年度水道事業会計決算概要

1. 収支状況

[1] 収益的収支

()税抜額 単位:千円

区分	予 算	決 算	差 引
収入	17,596,423 (16,386,753)	17,707,052 (16,526,011)	110,629 (139,258)
支出	15,897,077 (15,275,029)	15,192,863 (14,517,636)	△ 704,214 (△ 757,393)
差引	1,699,346 (1,111,724)	2,514,189 (2,008,375)	814,843 (896,651)
		純利益	好転額

○ 収支増減の内訳

[収入]

			執行率
① 給水収益	△	45,709 千円	99.7 %
② 他会計負担金		14,318 千円	116.2 %
③ その他営業収益		6,560 千円	101.0 %
④ 加入金		74,385 千円	133.5 %
⑤ 雑収益		10,838 千円	111.6 %
⑥ 長期前受金戻入		38,437 千円	103.8 %
⑦ その他		11,800 千円	102.4 %
		110,629 千円	100.6 %

[支出]

			執行率
① 委託料	△	217,942 千円	90.7 %
② 固定資産除却費	△	165,568 千円	58.6 %
③ 修繕費	△	79,762 千円	95.1 %
④ 減価償却費	△	65,426 千円	98.8 %
⑤ 動力費	△	59,403 千円	91.7 %
⑥ 薬品費	△	43,765 千円	83.9 %
⑦ その他	△	72,348 千円	98.6 %
	△	704,214 千円	95.6 %

[2] 資本的収支

単位:千円

区分	予 算	決 算	差 引
収入	4,238,654	3,203,623	△ 1,035,031
支出	12,559,826	10,212,633	△ 2,347,193
差引	△ 8,321,172	△ 7,009,010	1,312,162

内繰越額 1,849,708
 ∴ 不用額 497,485

(収入予算額に繰越額 602,736千円含む)

補てん必要額

圧縮額

(支出予算額に繰越額 1,291,653千円含む)

→ 決算差引不足額は、減価償却費等の内部留保資金で補てんする。

※ 繰越額の内訳

単位:千円

事業名	翌年度繰越額	財 源 内 訳		
		企業債	出資金	他事業負担金
基幹管路更新事業	909,387	426,000	2,875	
配水支管更新事業	295,596	134,000	2,125	
配水支管整備工事	317,790			261,711
浄水場等施設整備工事	116,505			
阿賀野川浄水場施設整備事業(継続費)	210,430	150,000		
計	1,849,708	710,000	5,000	261,711

○ 収支増減の内訳

[収入]

① 借入企業債	△	710,000 千円
② 補償金	△	264,243 千円
③ 国庫補助金	△	49,141 千円
④ その他	△	11,647 千円
	△	1,035,031 千円

[支出]

① 建設改良費	△	2,347,193 千円
		△ 2,347,193 千円
内繰越額	-	1,849,708 千円
(不用額)→	△	497,485 千円

2 . 利益剰余金の状況

当年度純利益	2,008,375 千円	(補正1号 1,111,724 千円)
建設改良積立金年度末残高	4,171,038 千円	
平成27年度末資金残高	6,179,413 千円	(補正1号 4,392,855 千円)
	↓	
〔平成27年度繰越分 実資金残	735,982 千円〕	
	5,443,431 千円	

3 . 業務実績

区 分	平成27年度	平成26年度	比較増・△減	比率(%)	
給水人口 (人)	796,135	797,690	△ 1,555	99.81	
給水世帯数 (世帯)	329,865	326,594	3,271	101.00	
配水量 (m3)	101,812,927	101,987,132	△ 174,205	99.83	
給水量 (m3)	96,130,230	96,391,268	△ 261,038	99.73	
有収率 (%)	94.42	94.51	△ 0.09	—	
給水収益 (千円)	14,994,550	14,943,339	51,211	100.34	
加入金 (千円)	296,687	258,360	38,327	114.83	
職員給与費 ※児童手当含む (千円)	2,890,606	2,869,532	21,074	100.73	
減価償却費 (千円)	5,171,385	5,110,906	60,479	101.18	
支払利息 (千円)	956,250	1,020,488	△ 64,238	93.71	
固定資産総額 (千円)	139,480,587	137,737,666	1,742,921	101.27	
企業債現有高 (千円)	44,466,670	45,347,272	△ 880,602	98.06	
配水管延長 (km)	4,193	4,171	22	100.53	
職員数(人)	定数内職員数	342	345	△ 3	99.13
	再任用職員数	38	25	13	152.00
	〈計〉	380	370	10	102.70

4. 資金明細の推移

(単位：千円)

			26年度決算	27年度当初予算	27年度(補正1号)	27年度決算
収益的 収支	税	収入	17,178,410	16,386,753	16,386,753	16,526,011
		支出	22,090,648	15,203,559	15,275,029	14,517,636
	抜	差引	△ 4,912,238	1,183,194	1,111,724	2,008,375
資本的 収支	税	収入	3,321,292	3,635,918	3,635,918	3,203,623
		支出	12,473,858	11,281,635	11,268,173	10,212,633
	込	差引	△ 9,152,566	△ 7,645,717	△ 7,632,255	△ 7,009,010
補 填 財 源	当年度消費税 資本的収支調整額		648,631	570,680	570,680	498,894
	過年度損益勘定留保資金		0	0	0	0
	当年度損益勘定留保資金		11,797,257	4,349,332	4,351,598	4,096,807
	減債積立金		0	0	0	0
	建設改良積立金		7,071,413	5,941,670	6,584,347	6,584,347
	繰越利益剰余金		1,131,850	0	0	0
	当年度純損益		△ 4,912,238	1,183,194	1,111,724	2,008,375
	計		15,736,913	12,044,876	12,618,349	13,188,423
充 当 額	当年度消費税 資本的収支調整額		648,631	570,680	570,680	498,894
	過年度損益勘定留保資金		0	0	0	0
	当年度損益勘定留保資金		8,016,869	4,349,332	4,351,598	4,096,807
	減債積立金		0	0	0	0
	建設改良積立金		487,066	2,725,705	2,709,977	2,413,309
	繰越利益剰余金		0	0	0	0
	当年度純損益		0	0	0	0
	計		9,152,566	7,645,717	7,632,255	7,009,010
資 金 残	当年度消費税 資本的収支調整額		0	0	0	0
	過年度損益勘定留保資金		0	0	0	0
	当年度損益勘定留保資金		3,780,388	0	0	0
	減債積立金		0	0	0	0
	建設改良積立金		6,584,347	3,215,965	3,874,370	4,171,038
	繰越利益剰余金		1,131,850	0	0	0
	当年度純損益		△ 4,912,238	1,183,194	1,111,724	2,008,375
	計		6,584,347 (26年度繰越分) △ 593,239 5,991,108	4,399,159	4,986,094 (繰越分) △ 593,239 4,392,855	6,179,413 (27年度繰越分) △ 735,982 5,443,431

平成 27 年度 決算審査意見（抜粋）

（地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づく監査委員の意見）

(1) 事業の概況

当年度は、平成 27 年度から平成 36 年度までの 10 年間を計画期間とする「新・新潟市水道事業中長期経営計画（新・マスタープラン）」の初年度であったが、計画に基づき、老朽化した管路施設や浄配水施設の設備を更新するとともに、医療機関等の重要施設への配水管の耐震化を進めた。また、当年度からの 5 か年の継続事業である阿賀野川浄水場の整備に着手した。

なお、水需要の減少に伴い給水量は年々減少しているが、当年度においても前年度に比べ 26 万 1,038 m³減少しており、新・マスタープランでの見込みを下回っている。

(2) 経営状況

当年度の経営成績については、給水量の減少に伴い給水収益が前年度に比べ 1,335 万円減少し、営業費用が 1 億 9,698 万円増加したことから、営業利益は前年度に比べ 1 億 7,853 万円減少して 14 億 723 万円となった。給水収益は 5 期連続、営業利益は 3 期連続の減少となっている。

また、当年度純利益は 20 億 837 万円となり、会計基準の見直しがあった前年度に比べ大幅な増となったが、これは会計基準の見直しに伴い前年度に計上した特別損失の影響がなくなったことによるものである。

なお、会計基準が見直される前の平成 25 年度の純利益と比べて当年度純利益は概ね 10 億円増加している。これは会計基準の見直しにより補助金等については長期前受金に計上し、順次収益化するといった会計処理が適用されたため、営業外収益が概ね 10 億円の増となったことが主な要因と考えられ、これを除けば、実質的には会計基準見直しの前後で当年度純利益に大きな変化はないと考えられる。

(3) 財政状態

当年度末の財政状態については、企業債の新規借入を抑制することにより、企業債の未償還残高は前年度に比べ 8 億 8,060 万円減の 444 億 6,667 万円となり、新・マスタープランの目標値を上回るペースで減少している。その一方、将来負担を軽減するため建設改良事業に自己資金を充当したことなどで、現金預金残高は前年度に比べ 15 億 7,251 万円減の 80 億 423 万円となり、5 期連続の減少となっ

た。また、建設改良積立金などの内部留保資金についても、前年度に比べ4億493万円減の61億7,941万円となり、新・マスタープランでの見込額を上回ってはいるものの減少傾向にある。

新・マスタープランでは平成32年度に内部留保資金が不足になると試算されていることから、将来負担の軽減を図りつつ、今後増加する施設の更新需要に対応するために、社会状況の変化も考慮しながら適正な資金管理を行っていくことが望まれる。

(4) 今後の課題

本市の水道事業は、これまで、毎年一定水準の利益を確保しており、経営的には安定している。しかし、近年の節水型器具の普及や給水人口の減少などの影響により給水収益が年々減少する一方で、営業費用は増加傾向にあり、また、供給単価と給水原価の差額についても、平成24年度には10円以上だったものが当年度は2円29銭まで縮小している。さらに、老朽化した浄配水施設や昭和39年の新潟地震以降に布設された管路施設の更新を進めていく必要があるなど、水道事業を取り巻く環境は年々厳しくなっている。

このような経営環境については新・マスタープランでも見込まれており、中長期的な課題として認識されているが、今後とも大幅な収益の増加が見込まれない以上、給水人口の減少を見込んだ施設・設備のダウンサイジング等により、規模の適正化を図っていく必要がある。併せて民間委託の推進などにより、一層の経費削減に取り組むことで、今後見込まれる施設の更新等に必要な財源を確保しつつ、安全でおいしい水を安定的に供給していくことが望まれる。

また、当年度には、遊休資産の活用策として、廃止した浄水場の跡地に民間事業者による太陽光発電施設を誘致する計画が、国の制度変更等の影響により中止となった。市町村合併後に計画的に廃止してきた浄水場の跡地活用は、ファシリティマネジメントの観点からも重要な課題であり、財源の確保のためにも有効であることから、具体的な活用に向けて引き続き検討を進められたい。

新・マスタープランの評価における配点の見直しについて (有効性評価の変更)

◆変更前

(例1) 進捗度が評価できない定量的指標と定性的指標を比較した場合

	定量的なもので達成度が 「100%」の場合	定性的なもので達成度が 「実施」の場合
達成度の点数	3点	5点
進捗度の点数	1点	1点
有効性総合評価	4点 D (低い)	6点 C (普通)

上記(例1)のように、達成度が「100%」の場合と「実施」の場合を比較すると、点数で【2点】、総合評価で【1ランク】の差が生じます。双方の取組みは、それぞれ単年度の目標に達しており結果に大きな差異はないと考えられますが、総合評価において結果が大きく違うこととなります。



◆変更後

(例2) 進捗度が評価できない定量的指標と定性的指標の変更案

	定量的なもので達成度が 「100%」の場合	定性的なもので達成度が 「実施」の場合
達成度の点数	3点	3点
進捗度の点数	3点	3点
有効性総合評価	6点 C (普通)	6点 C (普通)

【変更内容】

- 定性的なものの配点5点(実施)、3点(一部実施)、1点(未実施)を、3点(実施)、2点(一部実施)、1点(未実施)に変更します。
- 進捗度が評価できない「定量的なもの」及び、「定性的なもの」は、達成度のみで評価するものとし、総合評価における配点のウエイトの均衡を図るため、進捗度について、達成度と同じ点数を加点するものとします。

【その他】

- 当該年度の評価指標の目標設定がない場合は、年次計画の事業・取組み項目を評価指標として設定できるものとする。
- 定性的なものの評価における「一部実施」とは、予定していた成果(目標)に達していない場合でも、年度末時点で、成果の一部として進行状況が判断できるものを評価する場合にのみ使用します。

例：①浄水場整備事業等の場合、工事の進行具合を判断できるため「一部実施」を適用できます。

②計画の策定等の場合、「策定できた」または「策定できなかった」の判断しかないので「一部実施」を適用できません。

新・マスタープラン評価方法【変更後】

1. 1次評価・・・事務事業所管課(内部部局各課)・経営層による分析・評価

■ 効率性評価…当該事業・取組みが、コストに見合った結果が出ているか、実施手段が効率的であったか比較検証を行い加点し評価します。

計画の実施状況は	予定を上回る（101%以上）	2点
	予定どおり（90%以上～100%以下）	1点
	予定を下回る（90%未満～）	0点

- ・計画の実施結果を項目ごとに加点評価し、合計を実施項目数で除したものを、事業・取組みの評価点（A）とする。
- ・指標が2つ以上の場合は、平均値（小数点第2位四捨五入）とする。

予算 効 率	結果（対計画）A 予算の執行率 b/a	予定を下回る （0.0～0.9点）	予定どおり （1.0～1.7点）	予定を上回る （1.8～2点）
	予定以下（～90%未満）	3点	4点	5点
	予定どおり（90%以上～100%以下）	2点	3点	4点
	予定以上（101%以上）	1点	2点	3点

- ・取り組み結果に対し、予算が効率的に執行されているか評価し加点する。
- ・シート中の【予算決算額】の執行率（ b/a ）と【実施結果・効果】の達成状況（A）に応じて加点する。
- ・予算執行がない場合は、予算の執行率を「予定どおり」とみなす。

作 業 効 率	結果（対計画）A 作業量（対計画） i/a	予定を下回る （0.0～0.9点）	予定どおり （1.0～1.7点）	予定を上回る （1.8～2点）
	予定以下（～90%未満）	3点	4点	5点
	予定どおり（90%以上～100%以下）	2点	3点	4点
	予定以上（101%以上）	1点	2点	3点

- ・予定した作業量に対し、効率的に取り組みが実施されたか評価し加点する。
- ・シート中の【時間・体制（人員）】の対目標（ i/a ）と【実施結果・効果】の達成状況（A）に応じて加点する。
- ・作業量の目標設定がない、作業量評価できないものは、作業量を「予定どおり」とみなす。

効率性が低下したやむを得ない理由がある。	1点
----------------------	----

- ・外的要因等による効率性の低下は、通常の加点の他に1点加算する。

効率性総合評価		
9～10点	A	非常に高い
7～8点	B	高い
5～6点	C	普通
3～4点	D	低い
2点	E	非常に低い

- ・各項目の加点終了後、合計点で効率性を総合評価する。

- 有効性評価…新・マスタープランで設定した重点目標等を達成するために有効であったか、期待する結果・効果（成果）は得られたか比較検証を行い加点し評価します。

達成度 (D/B)		定量的なもの
	5点	110%超
	4点	101%以上～110%以下
	3点	90%以上～100%以下
	2点	80%以上～89%以下
	1点	～80%未満

達成度 (D/B)		定性的なもの
	3点	実施
	2点	一部実施
	1点	未実施

- ・【目標設定項目（評価指標）】の達成度（D/B）に応じて加点する。
- ・指標が2つ以上の場合は、達成度の合算の平均値（小数点以下四捨五入）とする。
- ・当該年度の評価指標の目標設定がない場合は、年次計画の事業・取組み項目を評価指標として設定できるものとする。

進捗度 (E/C)		定量的なもの
	5点	110%超
	4点	101%以上～110%以下
	3点	90%以上～100%以下
	2点	80%以上～89%以下
	1点	～80%未満

- ・【目標設定項目（評価指標）】の進捗度（E/C）に応じて加点する。
- ・定量的で進捗度が評価できないもの及び、定性的で進捗度が評価できないものは、達成度と同等の点数を加点する。
例：達成度が3点であれば、進捗度は3点とする。
- ・指標が2つ以上の場合は、進捗度の合算の平均値（小数点以下四捨五入）とする。

有効性が低下したやむを得ない理由がある。	1点
----------------------	----

- ・外的要因等による有効性の低下は、通常の加点の他に1点加算する。

有効性総合評価		
9～10点	A	非常に高い
7～8点	B	高い
5～6点	C	普通
3～4点	D	低い
2点	E	非常に低い

- ・各項目の加点終了後、合計点で効率性を総合評価する。

- 評価結果を見える化…評価終了後、集計表、レーダーチャート等で、結果を見える化する。

2. **2次評価**・・・外部機関である水道事業経営審議会による評価

■方向性評価…事業・取り組み単位で方向性について評価します。

評価基準	基準の持つ意味
拡充	今まで以上に力を入れて事業に取り組むことが適当
維持	今までどおり事業に取り組むことが適当
終了（完了）	事業・取組みは終了した。
改善・見直し	事業内容の改善や見直しを検討し取り組むことが適当
縮小	事業の取組み規模を縮小することが適当

・総合評価として方向性（優先性）を評価

新マスタープラン評価概要

有効性評価の変更箇所

1. 現状の評価方法では、公平性を欠くと判断されるケースが生じたため、定性的な指標の配点を5点、3点、1点から、3点、2点、1点に変更します。

達成度
目標に対する達成度

達成度 (D/B)	5点	110%超 実施
	4点	101%以上~110%以下
	3点	90%以上~100%以下 一部実施 実施
	2点	80%以上~89%以下 一部実施
	1点	~80%未満 未実施

進捗度
これまでの進捗度

進捗度 (E/C)	5点	110%超
	4点	101%以上~110%以下
	3点	90%以上~100%以下
	2点	80%以上~89%以下
	1点	~80%未満(進捗度が評価できないものは1点とする。)

外的要因等による加点
外的要因等により有効性が低下するやむを得ない理由がある場合加点します。

有効性が低下したやむを得ない理由がある。	1点
----------------------	----

有効性の総合評価
達成度、進捗度、外的要因の総合点を有効性の総合評価とします

有効性総合評価		
9~10点	A	非常に高い
7~8点	B	高い
5~6点	C	普通
3~4点	D	低い
2点	E	非常に低い

有効性評価

効率性評価

経営審議会による2次評価 方向性(優先性)評価

方向性(優先性)評価
すべての結果等を総合的に勘案し、今後の方向性(優先性)について評価します。

評価基準	基準の持つ意味
拡充	今まで以上に力を入れて事業に取り組むことが適当
維持	今までどおり事業に取り組むことが適当
終了(完了)	事業・取組みは終了した。
改善・見直し	事業内容の改善や見直しを検討し取り組むことが適当
縮小	事業の取組み規模を縮小することが適当

2. 現状の評価方法において、進捗度が評価できないものは、1点付与することとしていましたが、進捗が評価できないものは、達成度のみで評価するものとし、達成度と同等の点数を加点するものとする。

効率性の総合評価
予算効率、作業効率、外的要因の総合点を効率性の総合評価とします。

効率性総合評価		
9~10点	A	非常に高い
7~8点	B	高い
5~6点	C	普通
3~4点	D	低い
2点	E	非常に低い

実施状況
事業・取組みの項目ごとに計画に対する実施状況の評価点を算出します。

計画の実施状況は	2点	予定を上回る(101%以上)
	1点	予定どおり(90%以上~100%以下)
	0点	予定を下回る(90%未満~)

予算効率の評価
取り組み結果に対し、予算が効率的に執行されているか。

予算効率	結果(対計画) A			
	予算の執行率 b/a	予定を下回る(0.0~0.9点)	予定どおり(1.0~1.7点)	予定を上回る(1.8~2.0点)
予算効率	予定以下 ~90%未満	3点	4点	5点
	予定どおり 90%以上~100%以下	2点	3点	4点
	予定以上 101%以上	1点	2点	3点

作業効率の評価
予定した作業量に対し、効率的に取り組みが実施されたか。

作業効率	結果(対計画) A			
	作業量(対計画) (I/P)	予定を下回る(0.0~0.9点)	予定どおり(1.0~1.7点)	予定を上回る(1.8~2.0点)
作業効率	予定以下 ~90%未満	3点	4点	5点
	予定どおり 90%以上~100%以下	2点	3点	4点
	予定以上 101%以上	1点	2点	3点

外的要因等による加点
外的要因等により、効率性が低下するやむを得ない理由がある場合加点します。

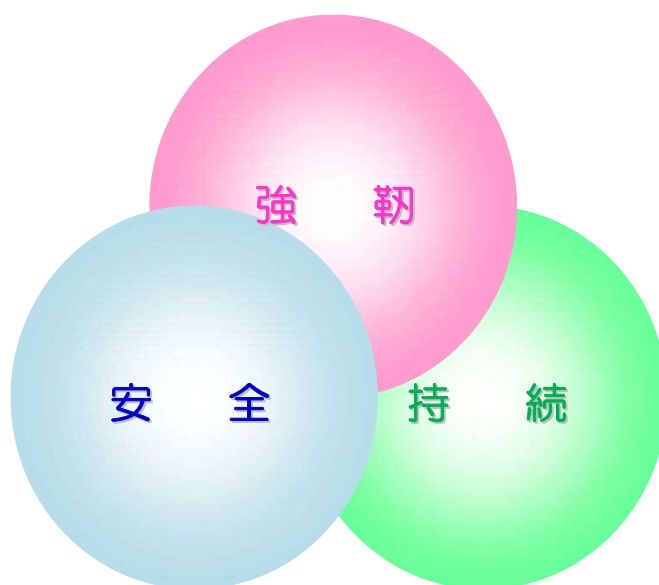
効率性が低下したやむを得ない理由がある。	1点
----------------------	----

⑤

新・新潟市水道事業中長期経営計画～新・マスタープラン～

前期実施計画（平成27年度）の取り組み状況

概要版



平成28年9月

新潟市水道局

目 次

趣旨，事業評価概要・・・P2

事業・取り組み担当課1次評価結果一覧・・・P3

1次評価結果概要・・・P4

2次評価結果概要・・・P5

事業・取り組みの実施状況・・・P6～P9

重点目標の推移・・・P10～12



平成27年度の評価結果，
取り組み状況を報告します。

水太郎

趣旨

本市では、平成27年3月に将来にわたって「すべてのお客さまに信頼される水道」を基本理念とした、「新・新潟市水道事業中長期経営計画～新・マスタープラン～」(平成27年度～平成36年度)を策定し、事業を推進しています。また、目指す方向性実現のため、具体的な事業・取り組みと、財政計画計画などを定めた「新・マスタープラン実施計画」(計画期間10年を前期・中期・後期の3期)を策定し、毎年度行う事業評価の結果を踏まえ、今後の事業に活用していくこととしています。

事業評価の概要

「新・マスタープラン前期実施計画」は、3つの方向性「安全」「強靱」「持続」を実現するために、8つの施策を設け、31の「事業取り組み」を行っています。評価については、1次評価は内部部局所管課で「事業取り組み」ごとに、効率性、有効性の評価をし、2次評価は外部機関の水道事業経営審議会で次年度以降の方向性を評価します。

1次評価

効率性総合評価		有効性総合評価	
効率性 A	・・・ 非常に高い	有効性 A	・・・ 非常に高い
効率性 B	・・・ 高い	有効性 B	・・・ 高い
効率性 C	・・・ 普通	有効性 C	・・・ 普通
効率性 D	・・・ 低い	有効性 D	・・・ 低い
効率性 E	・・・ 非常に低い	有効性 E	・・・ 非常に低い

2次評価

方向性総合評価

拡充	・・・	今まで以上に力を入れて事業に取り組むことが適当
維持	・・・	今までどおり事業に取り組むことが適当
終了(完了)	・・・	事業・取り組みは終了した
改善・見直し	・・・	事業内容の改善や見直しを検討し取り組むことが適当
縮小	・・・	事業の取組み規模を縮小することが適当

事業・取り組み担当課・1次評価結果一覧

方向性	施策	事業・取り組み	担当課	効率性	有効性	方向性	
安全でおいしい水道水の供給 《安全》	Ⅰ 水質管理の充実・強化	Ⅰ-1 水源水質の監視	水質管理課	B	C	維持	
		Ⅰ-2 水安全計画の充実・適切な運用	水質管理課 (浄水課)	C	C	維持	
		Ⅰ-3 水質管理体制の強化	水質管理課	C	C	維持	
		Ⅰ-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	水質管理課	C	C	維持	
		Ⅰ-5 分かりやすい水質情報の提供	水質管理課	B	A	維持	
	Ⅱ 給水装置における 水質保持	Ⅱ-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	管路課	C	B	維持	
		Ⅱ-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	管路課	B	B	維持	
		Ⅱ-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	管路課	C	C	維持	
	強靱な施設・体制による給水確保 《強靱》	Ⅲ 水道施設の計画的更新	Ⅲ-1 浄配水施設の計画的更新	計画整備課	C	C	維持
			Ⅲ-2 管路施設の計画的更新	計画整備課	C	C	維持
Ⅲ-3 鉛給水管の計画的更新			管路課	C	B	維持	
Ⅳ 災害対策・体制の強化		Ⅳ-1 浄配水施設の計画的耐震化	計画整備課	C	A	維持	
		Ⅳ-2 管路施設の計画的耐震化	計画整備課	C	C	維持	
		Ⅳ-3 重要施設向け配水管の耐震化	計画整備課	C	C	維持	
		Ⅳ-4 配水管網のブロック化の推進	管路課	B	C	維持	
		Ⅳ-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	管路課	C	C	維持	
		Ⅳ-6 事故・災害時における復旧体制の強化	経営管理課	B	C	維持	
環境の変化に柔軟に対応した 健全な事業運営の持続 《持続》		Ⅴ 経営基盤の強化	Ⅴ-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	計画整備課	C	C	維持
	Ⅴ-2 定員・給与の適正化		総務課	C	B	維持	
	Ⅴ-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施		営業課	C	C	維持	
	Ⅴ-4 遊休資産の有効活用		経営管理課	C	D	改善 見直し	
	Ⅴ-5 時代に即した料金制度等の検討・実施		経営管理課	C	C	維持	
	Ⅴ-6 水道事業経営審議会の効果的運用		経営管理課	B	C	維持	
	Ⅵ 積極的な情報提供と お客さまニーズの把握	Ⅵ-1 戦略的な広報の実施	総務課	C	C	維持	
		Ⅵ-2 お客さまの意見・要望の把握	総務課	B	C	維持	
		Ⅵ-3 分かりやすい経営情報の開示	経営管理課	C	C	維持	
		Ⅵ-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	経営管理課	B	C	維持	
	Ⅶ 技術・知識を有する 人材の確保と育成	Ⅶ-1 人材育成と専門性の強化	総務課	C	B	維持	
		Ⅶ-2 諸外国との水道技術研究交流	総務課	C	A	維持	
	Ⅷ 環境に配慮した事業運営	Ⅷ-1 建設副産物の再利用促進	技術管理室	C	C	維持	
		Ⅷ-2 水道局環境計画の策定と推進	経営管理課	C	C	維持	

1次評価結果の概要

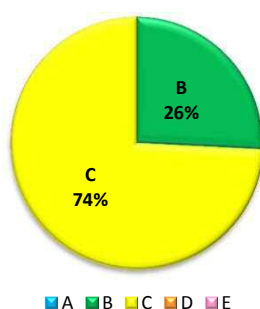
1. 1次評価結果の集計

(1) 効率性評価

評価値	A	B	C	D	E	計
事業数	0事業	8事業	23事業	0事業	0事業	31事業

効率性評価は、当該事業・取組みが、コストに見合った結果が出ているか、実施手段が効率的であったか評価するものです。評価全体では、評価点7～8点の「B高い」評価事業は8事業、26%、評価点5～6点の「C普通」評価事業は23事業、74%でした。今年度は新・マスタープランの初年度でしたが、全体として普通以上の評価結果となりました。

効率性評価（評価対象31）

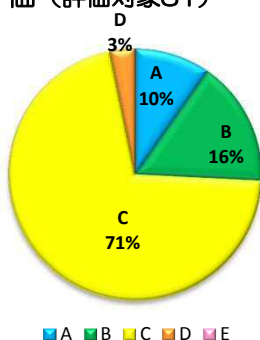


(2) 有効性評価

評価値	A	B	C	D	E	計
事業数	3事業 I-5 IV-1 VII-2	5事業	22事業	1事業	0事業	31事業

有効性評価は、重点目標等を達成するために有効であったか、期待する結果・効果（成果）は得られたか評価するものです。有効性総合評価の結果は、評価9～10点の「A非常に高い」評価事業は3事業、7～8点の「B高い」評価事業は5事業を合わせると8事業、26%でした。5～6点の「C普通」評価事業は22事業、71%、3～4点の「D低い」評価事業は1事業、3%でした。今年度は新・マスタープランの初年度でしたが、概ね普通以上の評価結果となりました。

有効性評価（評価対象31）



2次評価結果の概要

1. 2次評価結果の目的

「すべてのお客さまに信頼される水道」であるためには、お客さまの視点として、外部機関である水道事業経営審議会で、各事業取り組みの実施状況、目標の達成度などを確認したうえで、効率性、有効性、についての評価を受け、今後の方向性を明確にしていくことを目的としています。

2. 2次評価結果の集計

評価値	拡充	維持	終了（完了）	改善・見直し	縮小	計
事業数		30事業		1事業 V-4		31事業

3. 改善・見直しとした事業

		効率性 評 価	有効性 評 価	経営審議会総評	所管課
		V-4	遊休資産の有効活用	C	D

事業・取り組みの実施状況

安全でおいしい水道水の供給

すべてのお客さまに、いつでもどこでも、安全でおいしい水道水を供給する水道を目指します。

施策Ⅰ 水質管理の充実・強化

主な取り組み

- I-1 水源水質の監視
 ・水源の監視及び調査の実施
 I-2 水安全計画の充実・適切な運用
 ・水安全計画の評価・見直しの実施
 I-3 水質管理体制の強化
 ・水道GLPの維持
 ・人材育成及び技術継承

- I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理
 ・独自管理目標値による水質管理
 I-5 分かりやすい水質情報の提供
 ・啓発活動の継続
 ・分かりやすい情報提供

I-1 水源水質の監視	評価結果	効率性 B	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
河川水質事故による水道水の影響		0%	0%
水道原水の水質調査		2回	2回
浄水施設での対応が困難な物質の監視		4回	4回

I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
農薬濃度管理目標達成率		100%	100%
総トリハロメタン濃度管理目標達成率		100%	100%
残留塩素管理目標達成率		91%	93%
臭気強度管理目標達成率		100%	96%

I-2 水安全計画の充実・適切な運用	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
浄水場「水安全計画」の評価実施率		100%	100%

I-5 分かりやすい水質情報の提供	評価結果	効率性 B	有効性 A
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
さわやかトーク宅配便等年間実施数		10回	18回

I-3 水質管理体制の強化	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
検査機器の保守点検実施率		100%	100%
教育訓練実施率		100%	100%
水質検査の公表回数		12回	12回



施策Ⅱ 給水装置における水質保持

主な取り組み

- II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化
 ・教育委員会との協議
 II-2 受水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施
 ・貯水槽清掃強化強化月間の設定のための協議
 ・民間清掃会社との協体制構築に向けた関係機関との協議
 ・衛生管理指導業務の委託化 28年度委託予定

- II-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上
 ・受講未連絡の業者に対し講習会参加を促した
 ・適切な施工確保のため、講習内容を見直し実施
 ・優良工事店表彰を実施

II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	評価結果	効率性 C	有効性 B
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
学校施設の水飲み水栓の直結給水化率		61.1%	63.7%

II-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
給水装置に係る事故件数		0件	0件
指定給水装置工事事業者講習会参加率		73.6%	74.2%
優良工事店表彰の実施		実施	実施

II-2 受水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	評価結果	効率性 B	有効性 B
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
貯水槽清掃実施率（簡易専用水道）		92.8%	95.1%
貯水槽清掃実施率（小規模貯水槽水道）		65.5%	65.4%
貯水槽清掃実施率（全体清掃率）		76.5%	77.4%

強靱な施設・体制による給水の確保

自然災害等による被災を最小限にとどめ、断水等が発生した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道を目指します。

施策Ⅲ 水道施設の計画的更新

主な取組み

- Ⅲ-1 浄水施設の計画的更新
 - ・阿賀野川浄水場整備事業
 - ポンプ棟築造工事の実施（平成29年度完了予定）
 - 洗浄水槽耐震補強工事の実施（平成28年度完了予定）
- Ⅲ-2 管路施設の計画的更新
 - ・基幹管路の更新
 - ・配水支管更新
- Ⅲ-3 鉛給水管の計画的更新
 - ・小口径老朽管更新（ガス工事競合）
 - ・小口径老朽管更新（局単独工事）
 - ・他工事関連に関する鉛給水管更新（下水道工事等）
 - ・連合鉛給水管更新
 - ・鉛給水管更新（戸別）

Ⅲ-1 浄水施設の計画的更新	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
阿賀野川浄水場整備事業		実施	実施
配水場整備事業		—	—
個別整備		実施	実施

Ⅲ-3 鉛給水管の計画的更新	評価結果	効率性 C	有効性 B
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
鉛給水管率		7.3%	7.0%

Ⅲ-2 管路施設の計画的更新	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
基幹管路更新延長 ※基となる延長は発注延長（計画値）を使用		4,900m	4,870m （見込み）
配水支管更新延長 ※基となる延長は発注延長（計画値）を使用		22,700m	18,042m （見込み）

施策Ⅳ 震災対策・体制の強化

主な取組み

- Ⅳ-1 浄配水施設の計画的耐震化
 - ・耐震補強実施【土木構造物】
 - 青山浄水場洗浄水槽の耐震補強完了
 - 阿賀浄水場洗浄水槽の耐震補強完了（平成28年度完了予定）
- Ⅳ-2 管路施設の計画的耐震化
 - ・基幹管路更新事業・配水支管更新事業に併せ管路施設の耐震化を実施
- Ⅳ-3 重要施設向け配水管の耐震化
 - ・計画に基づき重要施設向け配水管の耐震化を実施（医療機関：1施設 本計画以外に1施設完了）
- Ⅳ-4 配水管網のブロック化の推進
 - ・基幹管路整備に併せた小ブロックの構築・小ブロック構築数8ブロック
- Ⅳ-4 配水管網のブロック化の推進
 - ・小ブロックの構築・小ブロック構築数8ブロック
- Ⅳ-5 大ブロック間の相互連絡管の整備
 - ・巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備の
- Ⅳ-6 事故・災害時における復旧体制の強化
 - ・各種災害マニュアルの更新
 - ・危機事象対応マニュアル
 - ・地域防災計画
 - ・満願寺浄水場の給水車常設注水設備の整備完了
 - ・災害時の協力体制および連携体制の拡充
 - ・お客さまコールセンターとの災害時連携体制強化のため
 - ・他事業体の調査及び検討
 - ・応急給水訓練実施（南区2箇所、江南区、1箇所）

Ⅳ-1 浄配水施設の計画的耐震化	評価結果	効率性 C	有効性 A
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
【建築物】（完了数/全計画数）		—	—
【土木構造物】（完了数/全計画数）		1/13	2/13

Ⅳ-4 配水管網のブロック化の推進	評価結果	効率性 B	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
小ブロック構築率		80.7%	80.7%

Ⅳ-2 管路施設の計画的耐震化	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
管路耐震適合率 ※基となる延長は発注延長（計画値）を使用		66.90%	67.0% （見込み）
基幹管路耐震適合率 ※基となる延長は発注延長（計画値）を使用		59%	59.3% （見込み）

Ⅳ-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
相互連絡管整備延長		1,110m	1,074.8m

Ⅳ-3 重要施設向け配水管の耐震化	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
重要施設向け配水管の耐震化 ※評価指標の進捗は、工事の発注により行う		3施設	3施設 （見込み）

Ⅳ-6 事故・災害時における復旧体制の強化	評価結果	効率性 B	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
各種マニュアルの作成・見直し		実施	実施
給水車用常設注水設備の整備		1箇所	1箇所 （満願寺）
住民用応急給水設備の整備		1箇所	1箇所 （満願寺）

環境の変化に柔軟に対応した健全な事業運営の持続

給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道を目指します。

施策V 経営基盤の強化

主な取組み

- V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理
 ・施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備…現況管理台帳等の調査
 V-2 定員・給与の適正化
 ・定員の適正化・・・平成28年度に委託する新設調査業務について業務分析を行い、適正な人員を削減
 ・給与の適正化・・・給料表の改定、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施
 V-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施
 ・水道料金等収納業務委託の実施に向けた基本方針の決定、準備計画の策定

- V-4 遊休資産の有効活用
 ・施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の実施
 ・太陽光発電用地としての有償貸付は、固定価格買取制度の見直しにより発電事業者が辞退したため、事業を中止
 V-5 時代に即した料金制度の検討・実施
 ・料金体系の調査研究など
 V-6 水道事業経営審議会の効果的運用
 ・水道事業経営審議会開催（2回/年）
 ・公募委員2名の改選（平成27年10月）



V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
更新計画の見直し		—	—
施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備※		実施	実施

V-4 遊休資産の有効活用	評価結果	効率性 C	有効性 D
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
有効活用の実施・協議・調整等累計施設数		3施設以上	0施設

V-2 定員・給与の適正化	評価結果	効率性 C	有効性 B
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
職員数（年度末職員数≤職員定数）		346人	342人

V-5 時代に即した料金制度の検討・実施	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
「水道料金算定要領」に基づく料金シミュレーション		調査研究	実施

V-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
水道料金等収納業務委託の実施（基本方針の決定・準備）		実施	実施

V-6 水道事業経営審議会の効果的運用	評価結果	効率性 B	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
マスタープラン事業実施状況に対する意見・提言の聴取と反映		実施	実施

施策VI 積極的な情報提供とお客さまニーズの把握

主な取組み

- VI-1 戦略的な広報の実施
 ・独自イベント・・・施設見学など
 ・お客さまに直接働きかける広報・・・災害パネル展示、出前講座など
 ・デジタルメディアを活用する広報・・・ホームページなど
 ・紙媒体による広報・・・広報紙、検針票裏面など
 ・漫画を活用する広報・・・小学生向けパンフレット、工事看板など
 VI-2 お客さまの意見・要望の把握
 ・公募による22名の水道モニターで研修会や施設見学など5回開催

- VI-3 分かりやすい経営情報の開示
 ・料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供・・・ホームページで公表
 ・経営効率化に関する取り組み情報の提供・・・広報紙「水先案内」に掲載
 VI-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供
 ・保管管理、検査、有効利用、情報提供を継続的に実施

VI-1 戦略的な広報の実施	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
お客さまアンケートにおける広報紙「水先案内」の認知度		—	—
「新潟市水道局広報戦略」に基づく効果的な広報の実施※		実施	実施

VI-3 分かりやすい経営情報の開示	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供（ホームページおよび水先案内に掲載）		1回/年以上	1回/年以上
経営効率化に関する取り組み情報の提供（ホームページおよび水先案内に掲載）		1回/年以上	1回/年以上

VI-2 お客さまの意見・要望の把握	評価結果	効率性 B	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
お客さまアンケート調査の実施		—	—
水道モニター活動回数（モニター会議、施設見学会等開催数）		5回	5回

VI-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	評価結果	効率性 B	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
汚泥保管施設における放射線量測定結果の情報開示の継続		開示	実施
放射性物質濃度の分析調査結果の情報開示の継続		開示	実施

※当該年度の評価指標の目標設定がないため評価指標として設定した指標

施策Ⅶ 技術・知識を有する人材の確保と育成

主な取組み

- Ⅶ-1 人材育成と専門性の強化
- 技術系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施
 - 各種研修は研修計画に基づき継続的に実施
 - 水道研修センターの効果的運用
(施設稼働率89.6%, うち研修での稼働率43.2%)
- Ⅶ-2 諸外国との水道技術研究交流
- 仙台市で開催された日米台水道地震対策ワークショップ 2名参加 (H27.10)
 - 神戸市で開催された水道技術国際シンポジウム等 3名参加 (H27.7)
 - 東京都で開催された自治体水道国際展開プラットフォーム 第7回会議 2名参加 (H28.1)

Ⅶ-1 人材育成と専門性の強化	評価結果	効率性 C	有効性 B
目標設定項目(評価指標)		目標	実績
年間内部研修実施時間 (延べ年間研修時間/年度末職員数)		14.6時間	16.1時間

Ⅶ-2 諸外国との水道技術研究交流	評価結果	効率性 C	有効性 A
目標設定項目(評価指標)		目標	実績
国際研修等への参加人数		2人	7人

施策Ⅷ 環境に配慮した事業運営

主な取組み

- Ⅶ-1 建設副産物の再利用促進
- 改良土の利用促進
 - 建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート
廃材を再生プラントにて再資源化(再生率100%)
 - 建設発生土について、埋戻しに適する発生土は再利用し、適さない発生土は改良し、再利用(再生率16.9%)
- Ⅶ-2 水道環境計画の策定と推進
- 環境計画の策定
 - 環境会計の作成・公表
 - 省エネルギー対策の推進・・・満願寺浄水場の天日乾燥床整備事業に着手

Ⅶ-1 建設副産物の再利用促進	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目(評価指標)		目標	実績
建設副産物のリサイクル率		39.2%	37.7%

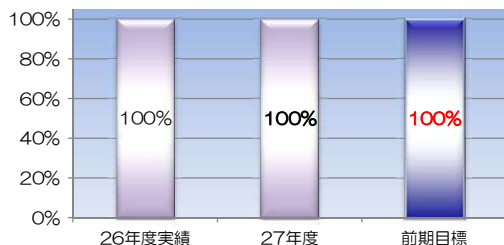
Ⅶ-2 水道環境計画の策定と推進	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目(評価指標)		目標	実績
水道局環境計画の策定・運用		実施	実施
環境会計の作成・公表		実施	実施



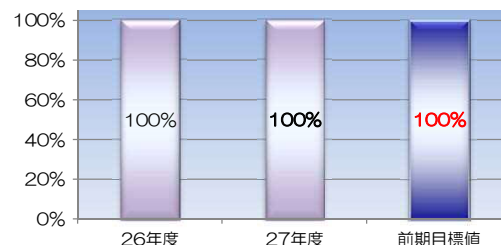
重点目標の推移

■安全でおいしい水道水の供給

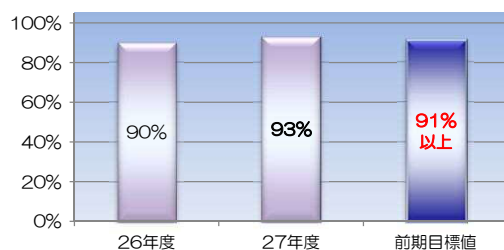
・農薬濃度管理目標達成率



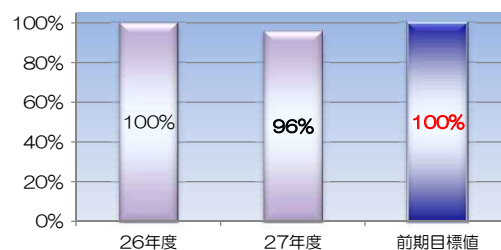
・総トリハロメタン濃度管理目標達成率



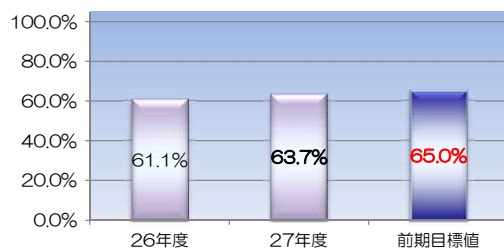
・残留塩素管理目標達成率



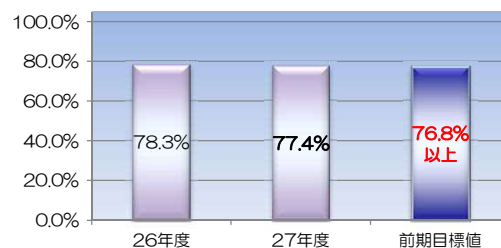
・臭気強度管理目標達成率



・学校施設水飲み水栓の直結給水化率

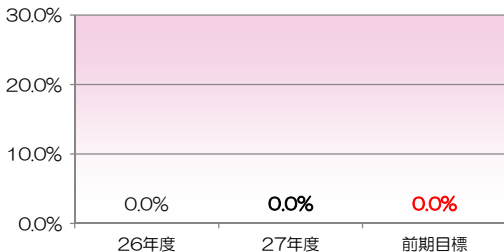


・貯水槽清掃実施率

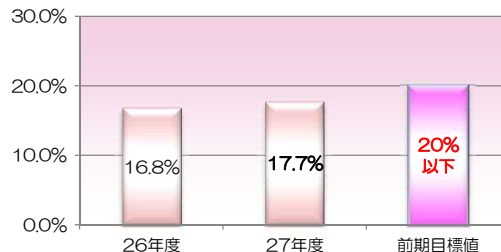


■強靱な施設・体制による給水の確保

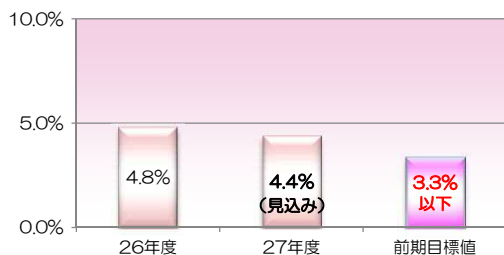
・老朽化浄水施設率



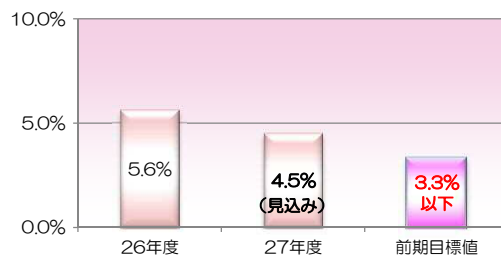
・老朽化設備率



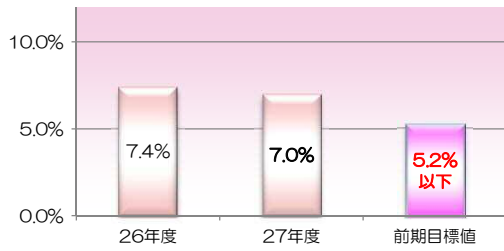
・老朽化管路率 ※1



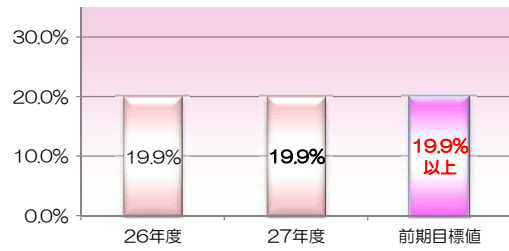
・老朽化基幹管路率 ※1



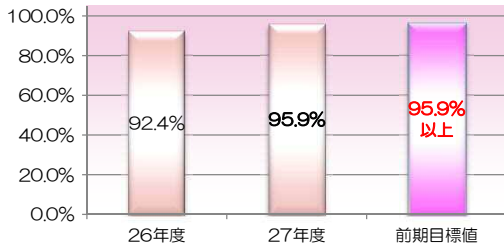
・鉛製給水管率



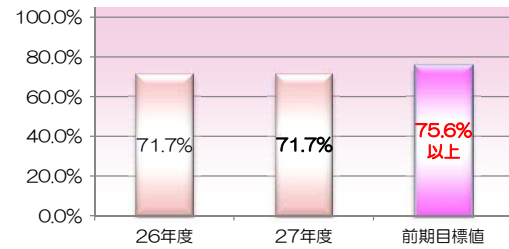
・浄水施設耐震率



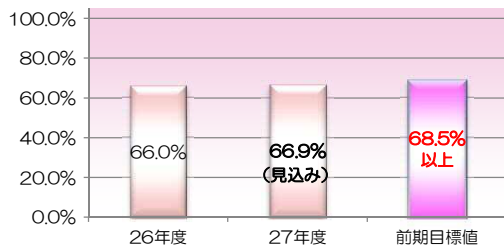
・ポンプ所耐震施設率



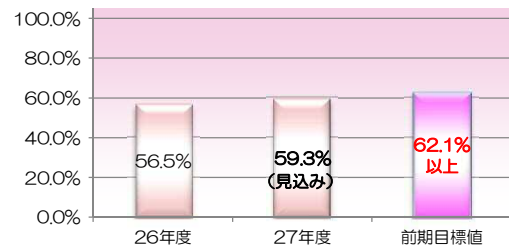
・配水池耐震施設率



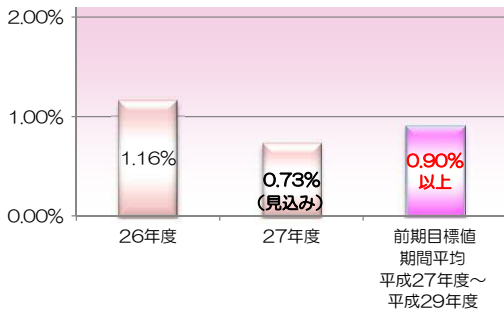
・管路耐震適合率 ※1



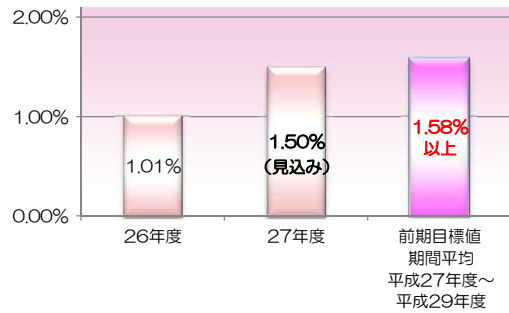
・基幹管路耐震適合率 ※1



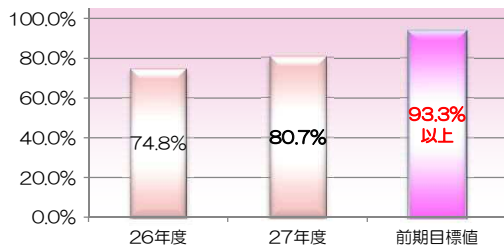
・管路更新率 ※1



・基幹管路更新率 ※1



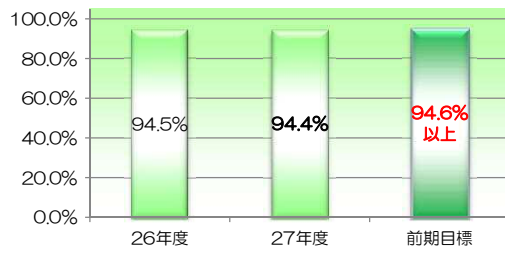
・小ブロック構築率



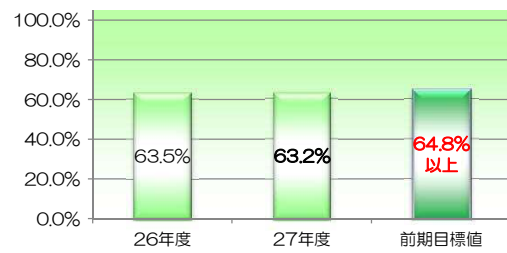
※1 基となる延長は発注延長（計画値）を使用

■環境の変化に柔軟に対応した健全な事業運営の持続

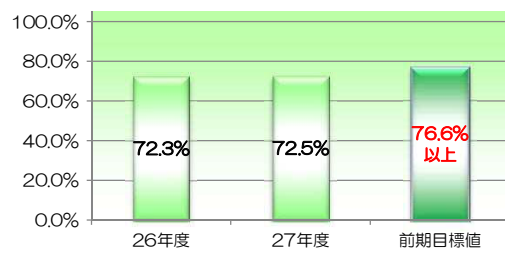
・有収率



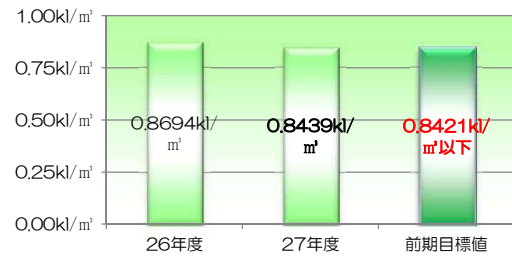
・施設利用率



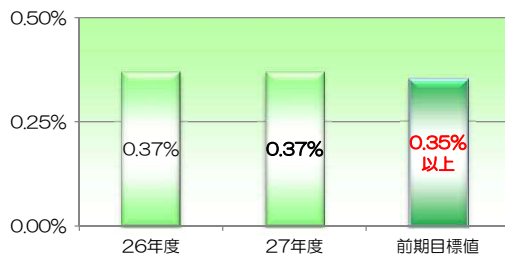
・施設最大稼働率



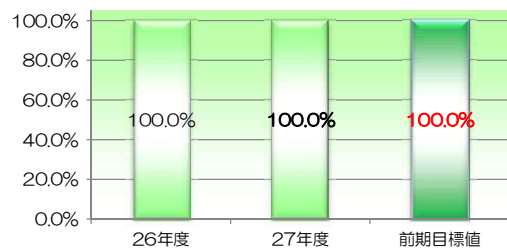
・エネルギー原単位



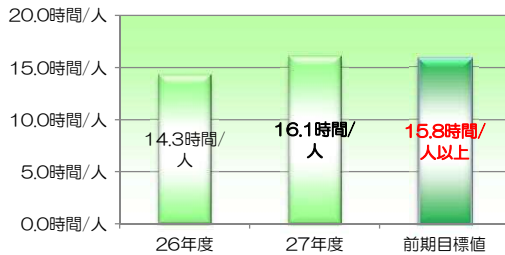
・再生可能エネルギー利用率



・浄水発生土の有効利用率



・内部研修実施時間



新・マスタープラン事業評価管理シート

平成27年度評価結果

平成28年9月

新潟市水道局

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-1	水源水質の監視	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	---------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	同一の水源を利用する水道事業者や関係機関と連携し、情報共有体制の構築や河川の水質調査を行うことにより、浄水処理への影響を未然に防ぎます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会(両水協)および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施する。 ・灯油流出などの水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施する(365日24時間)。 ・水道原水の共同調査を実施する(信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業者の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査)。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視する。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査する。	水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会(両水協)および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施する。 ・灯油流出などの水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施する(365日24時間)。 ・水道原水の共同調査を実施する(信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業者の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査)。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視する。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査する。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	960,000		741,100						
	執行額(b)	931,400								
	執行率(%) (b) / (a)	97%		0%		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	120時間	144時間		120時間					
	期間(d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月	120%	12ヶ月					
	単位あたりの作業量(c/d)	10時間	12時間		10時間					
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	・水質事故通報は例年油流出事故が多い。協議会の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。 ・重油流出事故等の大規模な水質事故に際して適切に対応し、水道水への影響を防ぐことができました。	・県内13水道事業者を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。平成27年度は両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。 ・平成28年1月末より発生した阿賀野川水系の異常臭気の際し、両水協として河川水の臭気確認を強化しながら原因究明を進め、河川管理者等と連携し対応を進めました。本市においては、阿賀野川より取水する全ての浄水場において適切に粉末活性炭処理を行うことにより、違和感の無い水道水を供給しお客さまへの負の影響を回避しました。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		水源の監視及び調査	2点										
		平均(A)	2.0点			平均(A)	平均(A)						

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
河川水質事故による 水道水の影響	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	0	0	0	0%	100%		3点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
水道原水の水質調査	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	2回	2回	2回	2回	100%		3点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
浄水施設での対応が 困難な物質の監視	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	4回	4回	4回	4回	100%		3点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)

■評価結果

所管評価	27年度	28年度	29年度
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	本事業の活動予算については、両水協負担金として運営会費等を新潟県内13水道事業体の有収水量に応じて案分された額が充てられています。共同調査、上流調査、技術研修会の開催など、同協議会の事業計画および年間予算については、両水協総会(毎年6月実施)で承認される事案であり、平成27年度予算については概ね予定通りの執行であったと評価しています。		
評価結果	予算効率 4点 作業効率 3点 外的要因加点 0点	予算効率 点 作業効率 点 実施方法 点	予算効率 点 作業効率 点 実施方法 点
評価の観点・結果	総合評価 B 7点/10点	総合評価 点/10点	総合評価 点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	両水協の活動を通して、信濃川水系および阿賀野川水系で年間100件以上発生している水質事故について、事故発生時の迅速な連絡通報と関係機関との情報共有に努めることにより、水系全体のお客さまへの影響を未然に防ぎました。加えて、年次計画にある共同調査や特別調査を実施し、水道水に影響するおそれのある臭気物質や未規制物質の調査結果より会員事業体の共益となる情報が得られました。なお、本市に直接影響する事案としては、本市取水地点の近くに発生した油流出事故については、主体的な情報収集と関係機関への確実な周知を行い浄水処理への影響を未然に防止できました。また、阿賀野川で発生した異常臭気対応については、関係機関と密接に連携しお客さまへの影響を防止し発生原因を特定することができました。		
評価結果	達成度 3点 進捗度 3点 外的要因加点 0点	達成度 点 進捗度 点 実施方法 点	達成度 点 進捗度 点 実施方法 点
評価の観点・結果	総合評価 C 6点/10点	総合評価 点/10点	総合評価 点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持 経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-2	水安全計画の充実・適切な運用	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	----------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	安全で良質な水道水を継続的に供給するために、水源からじゃ口までのすべての過程における一元的な水質管理を行う「水安全計画」を評価し、必要に応じて見直すことで計画の充実を図っていきます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、必要に応じて適宜見直しを行います。	水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、必要に応じて適宜見直しを行います。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	0		0						
	執行額(b)	0								
	執行率(%) (b) / (a)	-		#DIV/0!		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	60時間	60時間		60時間					
	期間(d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月					
	単位あたりの作業量(c/d)	5時間	5時間		5時間					
	(ひと月あたりの実働時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	・平成22年に新潟市内のすべての浄水場における水安全計画を策定し運用しています。	・毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況の評価する妥当性の確認を行っています。 ・平成27年度は各浄水場別の水安全計画の見直しを行い、より実効性のある計画の改定を行いました。具体的には、各浄水場における管理基準値を見直し、異常時・緊急時対応マニュアルを最新のものに改めました。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		水安全計画の評価・見直し		1点									
		平均(A)	1.0点			平均(A)				平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
浄水場「水安全計画」 の 評価実施率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	100%	100%	100%	100%	100%	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	—	—	—	—	—	3点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	水安全計画の評価については、平成21年度の策定以来、運用状況を振り返りながら適宜見直しを進めるPDCAサイクルを確実に推進しています。なお、水安全計画実施に際しては特別の予算は計上していません。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	新潟市内すべての浄水場において改定作業を行いました。今後とも水安全計画については適宜見直しを実施し、実効性のある内容に改める必要があります。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-3	水質管理体制の強化	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	-----------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水道GLP(水道水質検査優良試験所規範を維持し、水質検査結果の精度と信頼性を確保します。)		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	水道GLPの維持・更新 ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画の策定、検査計画及び検査結果の公表。 ・試験方法等の調査研究の実施。 ・水道GLPの更新(4年毎)、サーベイランスの実施(更新中間期)。	水道GLPの維持・更新 ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画の策定、検査計画及び検査結果の公表。 ・試験方法等の調査研究の実施。 ・水道GLPの更新(4年毎)、サーベイランスの実施(更新中間期)。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	80,858,650		71,790,840						
	執行額(b)	76,166,988								
	執行率(%) (b) / (a)	94%		0%		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	120時間	120時間		120時間					
	期間(d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月					
	単位あたりの 作業量(c/d) (ひと月あたりの実働時間)	10時間 (ア)	10時間 (イ)	(イ/ア)	10時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	・平成26年度に2度目の認定更新を行っており平成27年度は認定維持。 ・教育訓練や水質検査機器の保守点検は毎年度当初に実施計画表を作成し、計画的に実施しています。	・平成27年度はGLPサーベイランス(GLP認定委員会による定期的な立入監査)を実施しました。サーベイランスの結果としては、良好にGLPに基づいた水質検査が実施されていると評価を受けました。なお、サーベイランスの際に指摘された軽微な改善事項については、直ちに直直し改善を行いました。 ・水質管理技術の継承については、平成26年度より課内ワーキンググループにより検討を行っています。平成27年度については、水質管理技術の分類と習得に係る目標年次を明らかにしました。また、水質管理技術を計画的に習得できるよう、OJT(On the Job Training)が確実に実施される環境整備を進めています。											
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~	
	・水道GLPの維持・更新		1点										
	・人材育成及び技術継承	2点											
	平均(A)	1.5点		平均(A)	平均(A)								

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
検査機器の 保守点検実施率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	100%	100%	100%	100%	100%	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	—	—	—	—	—	3点						
教育訓練実施率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	100%	100%	100%	100%	100%	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	—	—	—	—	—	3点						
水質検査の公表回数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	12	12	12	12	100%	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	12	24	36	12	100%	3点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・GLP認定維持に係る予算については当初計画通りに適切に施行され、また、その評価についても満足するものでした。 ・水質管理における人材育成・技術の継承については、主にOJTにより進めていることから特別の予算は計上していません。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・GLP認定を維持しているということは、本市の水質検査レベルが一定水準以上の技術力を確保し、その検査精度について必要にして十分であると、第3者機関により客観的に保証されるということです。水道水の安全性保証を確実にすることは、本市新・マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。 ・水質管理技術の継承については、OJTが確実に実施される環境は徐々に整備されつつあることから、一定の評価ができます。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	経営審議会総評 引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-4	新潟市独自の管理目標による水質管理	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	-------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	国が定める水質基準値等より厳しい、本市独自の「安全性とおいしさの基準」である管理目標値を設定し、より安全でおいしい水道水の供給に取り組んでいきます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	独自管理目標による水質管理 ・安全な水道水を提供するために、農業類と総トリハロメタンについては、国が定める水質基準値等より厳しい本市独自の管理目標値を定め、これを超えない管理を行います。 ・おいしい水道水を提供するために、残留塩素と臭気強度に関しては、国が定める目標値よりも厳しい本市独自の管理目標値を定め、これを超えない管理を行います。 ・必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。	独自管理目標による水質管理 ・安全な水道水を提供するために、農業類と総トリハロメタンについては、国が定める水質基準値等より厳しい本市独自の管理目標値を定め、これを超えない管理を行います。 ・おいしい水道水を提供するために、残留塩素と臭気強度に関しては、国が定める目標値よりも厳しい本市独自の管理目標値を定め、これを超えない管理を行います。 ・必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	55,528,200		55,728,000						
	執行額(b)	83,086,128								
	執行率(%) (b) / (a)	150%		0%		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	120時間	120時間		120時間					
	期間(d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月					
	単位あたりの 作業量(c/d)	10時間	10時間		10時間					
	(ひと月あたりの実働時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度					
	・独自管理目標値による水質管理、見直しを行いました。	・平成27年度については、1項目が目標達成率100%に達しませんでした。概ね目標を達成できました。なお、目標達成率100%に達しなかった臭気強度については浄水場との連携を強化することにより、平成28年度における目標達成率100%を目指します。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		・独自管理目標値による水質管理		1点									
		平均(A)		1.0点		平均(A)				平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
農薬濃度 管理目標達成率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	100%	100%	100%	100%	100%	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	3点						
総トリハロメタン濃度 管理目標達成率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	100%	100%	100%	100%	100%	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	3点						
残留塩素 管理目標達成率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	91%	91%	91%	93%	102%	4点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	4点						
臭気強度 管理目標達成率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	100%	100%	100%	96%	96%	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	3点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度			
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給するために、浄水場と連携し粉末活性炭処理を実施することにより、当初計画した目標値を概ね達成できました。なお、粉末活性炭処理については、通常処理へのプラスアルファの処理であることから活性炭添加量については調査研究を進め、効率的な注入率となるよう注入指針値を見直し、費用対効果が最大となるような水質管理に努める必要があります。</p> <p>・平成27年度の粉末活性炭の執行額については、阿賀野川異常臭気に伴い使用量が増加したものです。</p>									
	評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
	評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
		外的要因加点	0点	5点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給する取組みは、本市マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みである。ただし、活性炭の注入率と注入手法については、浄水費の増加と関連することから、今後とも調査研究を進めます。</p>									
	評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
	評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
		外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	<p>引き続き、計画に沿って事業を推進すること。</p>			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-5	分かりやすい水質情報の提供	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	---------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	安全でおいしい水や災害時での水の安定供給など、多様化するお客さまのニーズに対し、水道水をおいしく飲める啓発活動やニーズにあった情報提供などを行い、水道水に対する信頼性を高めます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	啓発活動の継続・充実 ・さわやかトーク宅配便やパンフレット配布などの啓発活動を継続して実施します。 ・小学生向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 分かりやすい情報提供 ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成する。水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。 ・小学生向け説明補助資料を充実させます。	啓発活動の継続・充実 ・さわやかトーク宅配便やパンフレット配布などの啓発活動を継続して実施します。 ・小学生向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 分かりやすい情報提供 ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成する。水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。 ・小学生向け説明補助資料を充実させます。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	119,448		98,280						
	執行額(b)	85,428								
	執行率(%) (b) / (a)	72%		0%		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	120時間	120時間		120時間					
	期間(d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月					
	単位あたりの作業量(c/d) (ひと月あたりの実働時間)	10時間	10時間		10時間					
		(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	・水質保全に関するパンフレットを作成し見学者に配布するなどPRIに活用しました。	・市政さわやかトーク宅配便(出前授業の一つ)時に使用するパワーポイントについて、イラストや写真等の多用したビジュアル的に分かりやすい構成となるよう改めた。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の解説ページを加えた。 ・広報人材育成室と連携し、水質管理センターへの市民見学の機会を増加し、「簡易ろ過実験」「臭気検査」「きき水体験」など体験型広報に接する機会を増やした。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		・啓発活動の継続		1点									
		・分かりやすい情報提供		1点									
	平均(A)		1.0点		平均(A)					平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
さわやかトーク 宅配便等年間実施数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	10回	10回	12回	18回	180%		5点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)			
	10回	20回	32回	18回	180%	5点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)			
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)			
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)			
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)			

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・本事業についてはいずれも当初予定通りに実施されています。また、広報業務については、水道局広報人材育成室と連携することにより実施していることから、当課における予算措置は計上していません。								
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	7点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・広報の充実については、今後当局として取組んでいくべき重要課題です。水質管理に精通した職員が水道水の安全性を分かりやすく広報することにより、多くのお客さまが漠然と抱いている水質的な不安感を払拭し、本市新・マスタープランの理念を実現することができると評価しています。今後とも当課における広報活動は拡充させていく必要があります。								
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	10点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	II	給水装置における水質保持	事業・取組名	II-1	学校施設の水飲み水栓の直結給水化	所管課	管路課
----	----	--------------	--------	------	------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	じゃ口から水を飲むという水道の文化を引き継ぎ、次世代を担う子供たちが水道水のおいしさをより実感できるよう、小中学校の水飲み水栓の直結給水化に取り組みます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。 教育委員会との協議 大規模改修計画に基づき協議を実施 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率:平成29年度に65%	新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。 教育委員会との協議 大規模改修計画に基づき協議を実施 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率:平成29年度に65%	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	0								
	執行額(b)	0								
	執行率(%) (b) / (a)	-		#DIV/0!		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	1回	1回		1回					
	(協議回数)									
	期間(d)	1年	1年	100%	1年					
	(従事期間)									
	単位あたりの作業量(c/d)	1回/年	1回/年		1回/年					
	(1年間の協議回数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	・学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 61.1%	教育委員会との協議 協議実施回数 1回 教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 また、大規模改修計画以外の工事(貯水槽入替等)で直結給水化が図られるか協議を行いました。財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。											
		学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 63.7% 市立学校施設数 182校 直結化した学校数 116校											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		教育委員会との協議実施		1点									
	平均(A)	1.0点			平均(A)				平均(A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
学校施設の水飲み水 栓の直結給水化率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	61.1%	63.7%	65.0%	63.7%	104%	4点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	61.1%	63.7%	65.0%	63.7%	104%	4点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	教育委員会との協議及び情報共有により実施予定校を確認しました。 その他施設に係る工事(水槽入替、修繕等)での、直結給水化の可否について検討を進めましたが、財政面から現在の計画に基づく実施を進めることを確認しました。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	教育委員会との協議及び情報共有を図り、双方共通の認識で取組を進めています。学校施設の直結給水化は、大規模改修計画に基づき計画どおりに進捗しています。								
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	8点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	経営審議会総評 引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	II	給水装置における水質保持	事業・取組名	II-2	貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	所管課	管路課
----	----	--------------	--------	------	---------------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	貯水槽水道利用者へ安全でおいしい水道水が供給されるよう、訪問指導等の強化により、貯水槽の清掃率向上に向けた積極的な啓発活動を行います。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	<p>貯水槽清掃強化月間設定に向けた協議 貯水槽衛生管理における、さらなる清掃率向上を目的に衛生行政や民間清掃業者と連携し強化月間を設定し取組むこととします。</p> <p>民間清掃業者との連携 強化月間の取組にあつては民間清掃業者との協力体制の確立に向けた協議を実施します。</p>	<p>貯水槽清掃強化月間設定に向けた協議 貯水槽衛生管理における、さらなる清掃率向上を目的に衛生行政や民間清掃業者と連携し強化月間を設定し取組むこととします。</p> <p>民間清掃業者との連携 強化月間の取組にあつては民間清掃業者との協力体制の確立に向けた協議を実施します。</p> <p>衛生管理指導業務の強化 未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を委託化し、指導実施件数を増やします。</p>	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	65,830								
	執行額(b)	44,198								
	執行率(%) (b) / (a)	67%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	0.3人	0.3人		0.3人					
	(担当者数)									
	期間(d)	1年	1年	100%	1年					
	(従事期間)									
	単位あたりの作業量(c/d)	0.3人/年	0.3人/年		0.3人/年					
	(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度			
	貯水槽清掃実施率 ・簡易専用水道 94.9% ・小規模貯水槽水道 67.1% ・全体清掃率 78.3%	貯水槽清掃強化月間の設定に向けた協議 平成27年度は強化月間の設定及び取組の具体化に向けた協議を行いました。しかし、衛生管理指導業務委託化の検討から、取組内容の調整が必要となり具体化にはいたりませんでした。平成28年度継続協議としています。										
		民間清掃業者との連携 衛生管理指導業務の取組内容を踏まえ民間清掃業者との協力体制に向けた協議を実施しました。連携の具体化については、継続協議としています。										
		(新規)衛生管理指導業務の委託化 新たに、(公財)新潟水道サービスへの衛生管理指導業務委託化について検討し、平成28年度予算措置を行いました。										
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下
	貯水槽清掃強化月間の設定に向けた協議		1点									
	民間清掃業者との連携協議		1点									
	(新規)衛生管理指導業務委託化	2点										
	平均(A)	1.3点			平均(A)				平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
貯水槽清掃実施率 (簡易専用水道)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	92.8%	92.9%	93.1%	95.1%	103%		4点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	—	—	—	—	—	4点								
貯水槽清掃実施率 (小規模貯水槽水道)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	65.5%	65.6%	65.8%	65.4%	100%		3点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	—	—	—	—	—	3点								
貯水槽清掃実施率 (全体清掃率)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	76.5%	76.6%	76.8%	77.4%	101%		4点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	—	—	—	—	—	4点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	予算の執行額は、前年度の清掃未実施者への指導文書郵送経費であり、平成26年度は清掃実施率が高かったことから低減しました。 また、所有者所在不明のため、指導が行えない施設も増加していることから、今後は、料金情報等から所有者不明を解消し、適切な指導に努めます。 平成28年度は、関係機関と継続協議としています。								
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	7点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	貯水槽清掃実施率全体では、目標値を0.9ポイント上回り、衛生管理の向上が図られ目標は達成されました。 しかし、小規模貯水槽水道にあつては、目標値より0.1ポイント下回りました。より安心安全な水道水利用のためにも、平成28年度からは一部業務を委託化し、管理指導強化を進め、衛生管理向上を図ることとします。								
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	8点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	II	給水装置における水質保持	事業・取組名	II-3	指定給水装置工事事業者の技術力向上	所管課	管路課
----	----	--------------	--------	------	-------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	指定給水装置工事事業者の技術力向上により、工事の品質確保やお客さまのトラブルの未然防止を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	講習会への積極的な参加要請 ・受講未連絡の業者に対し講習会参加を促します。 講習内容の適宜見直し ・適切な施工確保及び技術力確保のため、適宜講習内容を見直します。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を目的とした優良工事店表彰を実施します。	講習会への積極的な参加要請 ・受講未連絡の業者に対し講習会参加を促します。 講習内容の適宜見直し ・適切な施工確保及び技術力確保のため、適宜講習内容を見直します。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を目的とした優良工事店表彰を実施します。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	383,400								
	執行額(b)	400,188								
	執行率(%) (b) / (a)	104%		#DIV/0!		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	0.2人	0.2人		0.2人					
	(担当者数)									
	期間(d)	1年	1年	100%	1年					
	(従事期間)									
	単位あたりの作業量(c/d)	0.2人/年	0.2人/年		0.2人/年					
	(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	講習会への積極的な参加要請 ・講習会参加率73.6%	講習会への積極的な参加要請 ・受講未連絡の業者に対し講習会参加を促しました。(参加率:74.2%)											
	講習内容の適宜見直し ①指定業者として何をすべきか ②給水装置の維持管理・事故例	講習内容の適宜見直し ・適切な施工確保のため、講習内容を見直し実施しました。 ①適正な給水装置工事の施工 ②適切な安全管理											
	給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・優良工事店表彰(19件:15社)	給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。(21件:18社)											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		講習会参加要請		1点									
		講習内容の適宜見直し		1点									
	優良工事店表彰の実施		1点										
	平均(A)		1.0点		平均(A)				平均(A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
給水装置に係る 事故件数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	0件	0件	0件	0件	100%	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	3点						
指定給水装置工事事 業者講習会参加率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	73.6%	74.2%	78.0%	74.2%	101%	4点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	4点						
優良工事店表彰の 実施	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実施	実施	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	3点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	予算の執行については、優良工事店表彰が当初予定数に対し増加したことにより執行額が4.4%上昇しました。 講習内容は、研修テキストによるマンネリ防止から、現場実務的な内容に改めました。 講習会参加率は、前年度比で0.6%上昇し当初目標を達しました。								
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	5点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	講習会や表彰制度にあつては、業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を図ることを目的に実施しており、これら取り組みは給水装置工事における事故防止にも繋がります。よって当該取組は、今後も継続的に実施していきます。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	経営審議会総評 引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ-1	浄配水施設の計画的更新	所管課	計画整備課
----	---	------------	--------	-----	-------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	浄水処理・送配水機能の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的に更新するとともに、水需要の減少を踏まえて設備能力を見直し、施設規模の適正化を図ります。また、更新に併せて、環境負荷の低減や維持管理性の向上に配慮した整備を進めます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度 浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【阿賀野川浄水場整備事業】平成27～31年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施	28年度 浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【阿賀野川浄水場整備事業】平成27～31年度 【配水場整備事業】平成28～32年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施	29年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	559,694,000								
	執行額(b)	516,618,000								
	執行率(%) (b) / (a)	92%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	0.5人	0.5人		1.5人					
	期間(d) (従事期間)	1年	1年	100%	1年					
	単位あたりの作業量(c/d)	0.5人/年	0.5人/年		1.5人/年					
	(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	阿賀野川浄水場施設整備実施設計を実施	阿賀野川浄水場整備事業 ・ポンプ棟築造工事の実施(平成29年度完了予定) 経年劣化した設備の個別整備											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		阿賀野川浄水場整備事業		1点									
		平均(A)		1.0点		平均(A)				平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
阿賀野川浄水場 整備事業	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
配水場整備事業	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	-	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	-	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
個別整備	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
				実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
				実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度			
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	ポンプ場築造工事において、安全性確認のため土質調査した結果、地盤支持力や土質の不均一性が判明したため、基礎杭、仮設土留め工法を変更したことにより目標出来形は達成できなかったものの、ほぼ予定通りに工事を実施しました。									
	評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
	評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化を図るとともに、浄配水施設の信頼性と安定性を維持していくため老朽化した設備を計画的に更新する必要があります。阿賀野川浄水場施設整備事業は、来年度以降も稼働施設の安全確保を最優先として、計画通りの確実な施工管理に努めます。									
	評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
	評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
		外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ-2	管路施設の計画的更新	所管課	計画整備課
----	---	------------	--------	-----	------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	漏水事故の未然防止を図り、安定給水を確保するため、アセットマネジメント手法を取り入れ、更新周期を設定し、老朽化した管路施設(基幹管路・配水支管)を中心に計画的に更新します。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～36年度 59.7km 平成27年度4,900m 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～36年度 239.7km 平成27年度22,700m	基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～36年度 59.7km 平成28年度4,900m 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～36年度 239.7km 平成28年度26,500m	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	4,042,197,779								
	執行額(b)	3,965,809,835								
	執行率(%) (b) / (a)	98%		#DIV/0!		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	30.1人	29.3人		30.4人					
	(担当者数)									
	期間(d)	1年	1年	97%	1年					
	(従事期間)									
単位あたりの作業量(c/d)	30.1人/年	29.3人/年		30.4人/年						
(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度			
	・基幹管路更新延長 6,700m ・配水支管更新延長 27,500m	今年度計画していた工事は、予定通りに概ね発注をしました。 ◆工事発注延長(注) 基幹管路更新事業 更新延長 5,130m※ 4,870m(計画長) ※既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートによる更新を行った結果、延長が増えています。 配水支管更新事業 更新延長 18,042m ◆工事竣工延長(前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 2,326m 配水支管更新事業 更新延長 19,538m (注):事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理している。評価については、この発注延長を基にした耐震適合率による。										
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~	
	基幹管路更新事業		1点									
	配水支管更新事業		1点									
	平均(A)	1.0点		平均(A)					平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	
基幹管路更新延長 ※ 基となる延長は 発注延長(計画値)を使用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	
	4,900m	4900m	5,200m	4,870m(見込み)		99%	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)				実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)
	4,900m	9,800m	15,000m	4,870m(見込み)		99%	3点						
配水支管更新延長 ※ 基となる延長は 発注延長(計画値)を使用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	
	22,700m	26,500m	26,500m	18,042m(見込み)		79%	1点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)
	22,700m	48,700m	75,200m	18,042m(見込み)		79%	1点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・積算基準の変更などから工事単価が大幅に上昇したため、管路事業全体の予算配分の見直しを行ないました。 ・これにより、基幹管路更新、配水支管更新それぞれ計画していた工事発注件数の調整を行ない、調整後は予定通り工事発注を行ないました。 ・基幹管路については、既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートにより更新を進めたため延長が増えました。このため、効率性評価として用いるには、馴染まないことから、当初計画延長により評価を行ないます。 								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法		点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	確実な管路更新により、老朽化管路率・老朽化基幹管路率は減少し、管路耐震適合率・基幹管路耐震適合率は向上しています。 漏水事故の未然防止を図り、安定給水を確保するために、今後も計画的な更新を進めていきます。								
評価結果	達成度	2点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	2点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	1点	5点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ-3	鉛給水管の計画的更新	所管課	管路課
----	---	------------	--------	-----	------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	鉛給水管を更新し給水管の耐震化および漏水の未然防止を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	<p>27年度</p> <p>鉛給水管が分岐している配水支管(小口径老朽管:主に口径50mmのビニル管,鋼管)の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口径老朽管更新(ガス工事競合) ・小口径老朽管更新(局単独工事) ・他工事に関連する鉛給水管更新(下水道工事等) ・連合鉛給水管更新 ・鉛給水管更新(戸別) 	<p>28年度</p> <p>鉛給水管が分岐している配水支管(小口径老朽管:主に口径50mmのビニル管,鋼管)の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口径老朽管更新(ガス工事競合) ・小口径老朽管更新(局単独工事) ・他工事に関連する鉛給水管更新(下水道工事等) ・連合鉛給水管更新 ・鉛給水管更新(戸別) 	<p>29年度</p>

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	770,590,192								
	執行額(b)	738,874,863								
	執行率(%) (b) / (a)	96%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	10.5人	10.0人	95%	10.3人					
	(担当者数)									
	期間(d)	1年	1年		1年					
	(従事期間)									
単位あたりの作業量(c/d)	10.5人/年	10.0人/年		10.3人/年						
(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度																																
	鉛製給水管率 7.3%	更新件数																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施策</th> <th>当初見込</th> <th>更新数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">4条</td> <td>小口径管鉛給水管更新(ガス競合)</td> <td rowspan="3">650</td> <td rowspan="3">681</td> <td rowspan="3">104.8%</td> </tr> <tr> <td>小口径管鉛給水管更新(局単独)</td> </tr> <tr> <td>連合給水管更新</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>650</td> <td>681</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3条</td> <td>他工事給水管更新</td> <td rowspan="3">830</td> <td rowspan="3">795</td> <td rowspan="3">95.8%</td> </tr> <tr> <td>給水管更新(局単独)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>830</td> <td>795</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,480</td> <td>1,476</td> <td>99.7%</td> </tr> </tbody> </table>			施策	当初見込	更新数	実施率	4条	小口径管鉛給水管更新(ガス競合)	650	681	104.8%	小口径管鉛給水管更新(局単独)	連合給水管更新	小計	650	681		3条	他工事給水管更新	830	795	95.8%	給水管更新(局単独)	小計	830	795		計	1,480	1,476	99.7%								
	施策	当初見込	更新数	実施率																																					
	4条	小口径管鉛給水管更新(ガス競合)	650	681	104.8%																																				
		小口径管鉛給水管更新(局単独)																																							
		連合給水管更新																																							
	小計	650	681																																						
	3条	他工事給水管更新	830	795	95.8%																																				
		給水管更新(局単独)																																							
小計		830				795																																			
計	1,480	1,476	99.7%																																						
	※その他工事(配水管・給水装置・修繕)による更新件数 1,339件																																								
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~																													
	小口径老朽管更新(ガス工事競合)	2点																																							
	小口径老朽管更新(局単独工事)																																								
	連合鉛給水管更新																																								
	他工事に関連する鉛給水管更新		1点																																						
	鉛給水管更新(戸別)																																								
	平均(A)		1.5点		平均(A)				平均(A)																																

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
鉛給水管率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	7.3%	7.0%	5.2%	7.0%	104%	4点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	7.3%	7.0%	5.2%	7.0%	104%	4点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	鉛製給水管の更新は、他工事と併せた工事による費用の縮減や、鉛管密度の高い地域から更新を進めることで効率化を図っています。今年度は予算執行・更新件数とも概ね当初目標どおりに達成することができました。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	鉛給水管の更新は漏水事故の未然防止や有収率向上の観点から継続して実施する必要があります。 小口径老朽管(主に口径50mmのビニル管、鋼管)の更新に併せて解消するとともに、戸別の鉛給水管は鉛管密度の高い地域から解消をすすめていきます。								
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	8点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	経営審議会総評 引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	震災対策・体制の強化	事業・取組名	IV-1	浄配水施設の計画的耐震化	所管課	計画整備課
----	----	------------	--------	------	--------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	大規模地震が発生した場合でも、影響を最小限にとどめ、水道システムとして機能を損なうことのないよう、浄配水施設整備に併せ、効率的に浄配水施設等の耐震化を進めます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	耐震補強実施予定施設 平成27～36年度 【建築物】1施設 ・戸頭浄水場(脱水機棟) 【土木構造物】13施設 ・青山浄水場(配水池、洗浄水槽)・阿賀浄水場(配水池、洗浄水槽、沈砂池) ・満願寺浄水場(沈砂池)・戸頭浄水場(1系配水場)・巻浄水場(ろ過池) ・その他(取水場、配水場等5施設) 【構内水管】 ・取水場、浄水場、配水場 【平成27年度】2施設実施 ・青山浄水場(洗浄水槽)、阿賀浄水場(洗浄水槽)	耐震補強実施予定施設 平成27～36年度 【建築物】1施設 ・戸頭浄水場(脱水機棟) 【土木構造物】13施設 ・青山浄水場(配水池、洗浄水槽)・阿賀浄水場(配水池、洗浄水槽、沈砂池) ・満願寺浄水場(沈砂池)・戸頭浄水場(1系配水場)・巻浄水場(ろ過池) ・その他(取水場、配水場等5施設) 【構内水管】 ・取水場、浄水場、配水場 【平成28年度】2施設に着手 ・阿賀浄水場(配水池、沈砂池)耐震化工事に着手(構内水管含む)	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	100,874,000			#DIV/0!			#DIV/0!		
	執行額(b)	98,458,040			#DIV/0!			#DIV/0!		
執行率(%) (b) / (a)	98%			#DIV/0!			#DIV/0!			
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	0.5人	0.5人		0.6人					
	(担当者数)									
	期間(d)	1年	1年	100%	1年					
	(従事期間)									
単位あたりの作業量(c/d)	0.5人/年	0.5人/年		0.6人/年						
(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	・青山浄水場1系沈澱池の耐震補強完了	・青山浄水場洗浄水槽の耐震補強完了 ・阿賀野川浄水場洗浄水槽の耐震補強完了											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		耐震補強実施施設(土木構造物)		1点									
		平均(A)	1.0点			平均(A)				平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
【建築物】 (完了数/全計画数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	1/1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
【土木構造物】 (完了数/全計画数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	1/13	2/13	3/13	2/13	200% 5点	0点	—	—	—	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度			
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	浄配水施設の耐震化は、予定通り2施設完了しました。									
	評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
	評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点	点	作業効率	点	点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を損なうことのないように浄配水施設の耐震化を進めていく必要があります。来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備に併せ効率的に耐震補強を実施します。									
	評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
	評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度	点	点	進捗度	点	点
		外的要因加点	0点	10点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	震災対策・体制の強化	事業・取組名	IV-2	管路施設の計画的耐震化	所管課	計画整備課
----	----	------------	--------	------	-------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	大規模地震が発生した場合でも、生活や都市活動に必要な水道水をできる限りお客さまに届けられるよう、老朽化管路を地震に強い耐震管へ入れ替え、管路施設の耐震化を進めます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度 Ⅲ-2管路施設の計画的更新に併せ実施 基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～36年度 59.7km 平成27年度4,900m 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～36年度 239.7km 平成27年度22,700m	28年度 Ⅲ-2管路施設の計画的更新に併せ実施 基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～36年度 59.7km 平成28年度4,900m 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～36年度 239.7km 平成28年度26,500m	29年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	4,042,197,779								
	執行額(b)	3,965,809,835								
	執行率(%) (b) / (a)	98%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	30.1人	29.3人		30.4人					
	(担当者数)									
	期間(d)	1年	1年	97%	1年					
	(従事期間)									
	単位あたりの作業量(c/d)	30.1人/年	29.3人/年		30.4人/年					
	(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度			
	・基幹管路更新延長 6,700m ・配水支管更新延長 27,500m	今年度計画していた工事は、予定通りに概ね発注をしました。										
		◆工事発注延長(注) 基幹管路更新事業 更新延長 5,130m* 4,870m(計画長) ※既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートによる更新を行った結果、延長が増えている。 配水支管更新事業 更新延長 18,042m ◆工事竣工延長(前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 2,326m 配水支管更新事業 更新延長 19,538m										
		(注):事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理している。評価については、この発注延長を基にした耐震適合率による。										
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下
	基幹管路更新事業		1点									
	配水支管更新事業		1点									
	平均(A)		1.0点		平均(A)					平均(A)		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
管路耐震適合率 ※ 基となる延長は発注延長(計画値)を使用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	66.9%	67.7%	68.5%	67.0%(見込み)	100%		3点					
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	66.9%	67.7%	68.5%	67.0%(見込み)	100%	3点						
基幹管路耐震適合率 ※ 基となる延長は発注延長(計画値)を使用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	59.4%	61.0%	62.1%	59.3%(見込み)	100%		3点					
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	59.4%	61.0%	62.1%	59.3%(見込み)	100%	3点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・積算基準の変更などから工事単価が大幅に上昇したため、管路事業全体の予算配分の見直しを行ないました。 ・このため、基幹管路更新、配水支管更新それぞれ計画していた工事発注件数の調整を行ない、調整後は予定通り工事発注を行なった結果、耐震適合率は概ね目標通りとなりました。 ・基幹管路については、既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートにより更新を進めたため延長が増えた。このため、効率性評価として用いるには、馴染まないことから、当初計画延長により評価を行なう。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法		点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	確実な管路更新により、老朽化管路率・老朽化基幹管路率は減少し、管路耐震適合率・基幹管路耐震適合率は向上しています。 漏水事故の未然防止を図り、安定給水を確保するために、今後も計画的な更新を進めていきます。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	経営審議会総評 引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-3	重要施設向け配水管の耐震化	所管課	計画整備課
----	----	------------	--------	------	---------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	災害時に早急な対策・復旧計画の策定が求められる行政機関や、被災した市民の生命に係る救急医療施設などの重要施設向け配水管の耐震化を優先的に進め、被災対応の充実に努めます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	重要施設に位置づけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水管を優先的に耐震管に入れ替えます。 平成27年度～36年度において 行政機関6施設 医療機関26施設に向けた配水管を耐震化 (累計:行政機関12施設 医療機関42施設) 平成27年度 医療機関3施設(累計:行政機関6施設 医療機関19施設)	重要施設に位置づけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水管を優先的に耐震管に入れ替えます。 平成27年度～36年度において 行政機関6施設 医療機関26施設に向けた配水管を耐震化 (累計:行政機関12施設 医療機関42施設) 平成28年度 行政機関2施設(累計:行政機関8施設 医療機関19施設)	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	263,015,034								
	執行額(b)	255,096,365								
	執行率(%) (b) / (a)	97%		#DIV/0!		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	2.7人	2.7人		4.0人					
	(担当者数)									
	期間(d)	1年	1年	100%	1年					
	(従事期間)									
	単位あたりの作業量(c/d)	2.7人/年	2.7人/年		4.0人/年					
	(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	耐震化完了重要施設数(累計) ・行政機関 6施設 ・医療機関 16施設	◆耐震化完了重要施設数(累計) ・行政機関 6施設 ・医療機関 18施設 ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数※ ・行政機関 0施設 ・医療機関 3施設:新潟西蒲メディカルセンター病院,新潟脳外科病院,木戸病院(年度内完了施設:新潟西蒲メディカルセンター病院) ※事業の進捗は、工事の発注により計画管理している。評価はこの数値によりおこなう。 注:本事業である「重要施設向け耐震化工事」以外の支管更新工事により、医療機関向け配水管の耐震化が完了した施設が今年度1施設ありました。(大森内科医院)											
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~	
		重要施設向け配水管の耐震化		1点									
		平均(A)	1.0点			平均(A)				平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
重要施設向け 配水管の耐震化 ※評価指標の進捗は、 工事の発注により行う	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	3施設	2施設	4施設	3施設(見込み)	100%		3点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	3施設	5施設	9施設	3施設(見込み)	100%	3点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行、人員体制については概ね目標通りに事業を進めることができました。 ・今年度は入札不調などの理由により繰り越した工事があり、年度内で完了しない施設がありました。しかし予定された工事については、全て発注を行ないました。 								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法		点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の繰越により、年度内で完了しない施設がありました。今後は、早期の工事発注に取り組み、繰越が無いように取り組む必要があります。 ・計画的な事業実施により、着実に配水管の耐震化が完了した重要施設が増えています。重要施設向け配水管の耐震化は、災害時の対策として重要な取り組みであることから、今後も計画的に事業を進めます。 								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	震災対策・体制の強化	事業・取組名	IV-4	配水管網のブロック化の推進	所管課	管路課
----	----	------------	--------	------	---------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	事故、災害時の被害範囲の極小化や復旧の迅速化を図るため、配水幹線の更新や関連事業との整合を図りながら、小ブロック(135ブロック)の構築を行います。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	34年度末までに135の小ブロック構築を完了する ・平成27年度:10小ブロックの構築	34年度末までに135の小ブロック構築を完了する ・平成28年度:5小ブロックの構築	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0								
	執行額(b)	0								
	執行率(%) (b) / (a)	-			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	0.6人	0.5人	83%	0.7人					
	期間(d) (従事期間)	1年	1年		1年					
	単位あたりの作業量(c/d)	0.6人/年	0.5人/年		0.7人/年					
	(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	小ブロック構築率 74.8%(101/135)	小ブロック構築数 8ブロック ・小ブロック構築率 80.7%(109/135)											
		平成26年度の管路整備において、平成27年度実施予定の2小ブロックを先行して構築したことから、平成27年度は8小ブロックの構築となりました。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		小ブロック構築数		1点									
	平均(A)	1点			平均(A)				平均(A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)		
小ブロック構築率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	80.7%	84.4%	93.3%	80.7%	100%		3点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	80.7%	84.4%	93.3%	80.7%	100%	3点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施されるため、事業の性質上、予算の計上及び執行はありませんでした。 また平成27年度は、北営業所所管区域において、平成26年度のJ03ブロック構築作業に伴い、隣接するJ06ブロックの構築がほぼ完了したことから、管路整備を行うことなく区域設定仕切弁覆の設置により、効率的に1カ所の小ブロックを構築することができました。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	B	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	7点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	ブロック化は、事故・災害時における被害範囲の極小化や、迅速な復旧を行うために有効な手段です。 今後も計画的にブロック構築を進めていきます。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	震災対策・体制の強化	事業・取組名	IV-5	大ブロック間の相互連絡管の整備	所管課	管路課
----	----	------------	--------	------	-----------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時のバックアップを目的とし、大ブロック(各浄水場給水区域)間に相互連絡管を整備し、安定給水の向上を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=6,880m 整備期間 平成27年度～平成32年度 平成27年度1,110m	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=6,880m 整備期間 平成27年度～平成32年度 平成27年度450m	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	261,360,000								
	執行額(b)	243,752,760								
	執行率(%) (b) / (a)	93%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	1.2人	1.2人		1.2人					
	期間(d) (従事期間)	1年	1年	100%	1年					
	単位あたり の作業量(c/d)	1.2人/年	1.2人/年		1.2人/年					
	(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=761.1m	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=1,074.8m 目標値の1,110mは概算値であり、工事としては予定路線を全て実施 できました。 またこの他、債務負担行為として平成28年度竣工予定の1路線、約539 mの工事に着手しました。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		上昇 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	減少 90%未満～		上昇 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	減少 90%未満～
		連絡管整備延長		1点									
		平均(A)	1点			平均(A)				平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
相互連絡管整備延長	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	1,110m	450m	1,040m	1,074.8m	97%		3点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)
	1,110m	1,560m	2,600m	1,074.8m	97%	3点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	現場環境が良好(地方部)で作業効率が高く、予定通りの予算執行及び作業量により事業を実施できました。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	平成20年度から36年度までの17年間を整備期間として設定した連絡管整備事業の内、平成27年度から32年度までの工事の約16%が終了した。 事故・災害発生時のバックアップ機能を向上させるため、今後も計画に沿った施工を図ります。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	震災対策・体制の強化	事業・取組名	IV-6	事故・災害時における復旧体制の強化	所管課	経営管理課
----	----	------------	--------	------	-------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時などの非常時において、迅速かつ的確に応急給水する体制や、水道施設を早期に復旧する体制の強化を図るとともに、応急給水設備の整備や、給水や復旧に係る各種災害協定や関係団体・地域住民との連携の強化などを図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	<p>各種災害時マニュアルの更新</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種災害時マニュアル・計画等の見直し、拡充および訓練の実施をします。 <p>応急給水設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 満願寺浄水場の給水車専用常設注水設備、住民用応急給水設備の整備を行います。 <p>災害時の協力体制および連携体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> お客さまコールセンターとの災害時連携体制強化のため協力体制の検討・構築をします。 協力体制構築に向けた市長部局との協議をします。 災害時支援協力員や地域住民との応急給水訓練の実施。 	<p>各種災害時マニュアルの更新</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種災害時マニュアル・計画等の見直し、拡充および訓練の実施をします。 <p>応急給水設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 戸頭浄水場の住民用応急給水設備の整備を行います。 <p>災害時の協力体制および連携体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力体制構築に向けた市長部局との協議をします。 災害時支援協力員や地域住民との応急給水訓練の実施。 	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	12,560,460		3,930,633						
	執行額(b)	9,426,560								
	執行率(%) (b) / (a)	75%		0.0%		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	398.4	398.4		368.8					
	時間(h)									
	期間(d)	4	4	100%	4					
	人									
	単位あたりの作業量(c/d)	99.6	99.6		92.2					
	h/人	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度					
	<p>各マニュアルの見直しを行いました。</p> <p>応急給水設備の整備、更新(青山浄水場、秋葉配水場、金津配水場)を行いました。</p> <p>岡山市水道局と災害時燃料供給の相互協力に関する覚書を締結しました。</p> <p>公益財団法人新潟水道サービスと災害時における応急対策委託業務に関する協定書を締結しました。</p>	<p>各マニュアル等の見直しを行い充実を図りました。(危機事象対応マニュアル、地域防災計画)</p> <p>BCPに基づく各対策部の応急対策マニュアルを作成し、災害対応の強化を図りました。</p> <p>満願寺浄水場の給水車専用常設注水設備、住民用応急給水設備が完了し体制強化が図られました。</p> <p>お客さまコールセンターとの災害時連携体制強化のため他事業体の調査及び検討を行いました。</p> <p>応急給水訓練実施(南区2箇所、江南区、1箇所)</p>												
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~	
		各種災害時マニュアルの更新		1点										
		応急給水設備の整備		1点										
		災害時の協力体制および連携体制の充実		1点										
	平均(A)	1点			平均(A)					平均(A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
各種マニュアルの 作成・見直し	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
給水車用常設注水設備 の整備	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	1箇所	—	—	1箇所(満願寺)	100%		3点	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
住民用応急給水設備 の整備	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	1箇所(満願寺)	1箇所(戸頭)	1箇所(巻)	1箇所(満願寺)	100%		3点	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応の強化のため、満願寺浄水場に常設型の給水車注水設備及び応急給水設備を整備しました。 ・事業に対する執行額は、予算額とほぼ同等程度となりました。今年度予定されていた事業は、計画通り実施され、予算に対する執行額も予定の範囲内に収まる金額となりました。 								
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	7点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・危機事象対応マニュアル及び地域防災計画の見直しを行ったことに加えて、BCPIに基づく各対策班の応急対策マニュアルを作成し、災害時対応の充実化を行いました。 ・満願寺浄水場に給水車用の常設型注水設備及び住民用の応急給水設備を整備し、注水設備については今年度で完了しました。 ・災害時における電話受付体制の強化のため、お客さまコールセンターとの連携手法について、他事業体での取り組み状況の調査を行うとともに、局内における電話受付体制の検討を行いました。 ・地域住民との災害時における連携を図るため、南区及び江南区の自治会と応急給水訓練を実施しました。 								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持		
【方向性】	経営審議会総評 引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	経営審議会総評	経営審議会総評

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-1	アセットマネジメントによる適正な資産管理	所管課	計画整備課
----	---	---------	--------	-----	----------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	人口減少に伴い給水収益の大幅な減少が見込まれる中、水道事業を安定して持続していくために、中長期的な視点に立って、施設更新需要の見通しについて検討し、着実な更新投資を行う必要があります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備 浄水場単位の施設情報を電子化、施設・設備の修繕履歴等の統一的管理方針の調査・検討(平成27年度～継続的に実施) 平成27年度:各浄水場の修繕・更新台帳及び竣工図等保管状況調査	施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備 浄水場単位の施設情報を電子化、施設・設備の修繕履歴等の統一的管理方針の調査・検討(平成27年度～継続的に実施) 平成28年度 ・汎用データベースソフトの利用可能性と導入・維持管理コスト調査 ・工事竣工図等の電子化(PDF化など)と供用サーバへの保管ルールの検討 中長期的な更新需要の見直し 平成28年度:水道施設の中長期的解決課題の再整理、更新需要の見直しとアセットマネジメントによる健全度評価および財政収支見通しの再検証(平成29年度からの継続実施計画を前倒しする)	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	0		0						
	執行額(b)	0								
	執行率(%) (b) / (a)	-		#DIV/0!		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	0.6人	0.6人		2.4人					
	(実働人数)									
	期間(d)	6カ月	6カ月	100%	8カ月					
	(実働期間)									
	単位あたりの作業量(c/d)	0.1人/月	0.1人/月		0.3人/月					
	(月あたりの作業人数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	—	施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備 浄水場単位の施設・設備の更新・修繕履歴と竣工図等の保管・利用状況を調査しました。また、新マスタープラン整備工事竣工図等の電子化と統一利用化に向け、データ保管用の現有共用サーバ容量の調査、増設もしくは専用等の必要性とその可否について調査しました。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
				1点									
		平均(A)	1.0点			平均(A)					平均(A)		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度												
更新計画の見直し	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点
	—	—	実施	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—
施設情報の電子化 施設修繕履歴の整備	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点
	実施	実施	—	実施	実施	3点		—	—	—		—	—	—	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点
	—	—	—	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点
	—	—	—	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)		外的要因 加点
	—	—	—	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—	実績累計(E)	進捗度(E/C)		—

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	現況の調査にあたり必要とする人数通りで調査・検討の実施できました。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	浄水場単位の施設・設備の更新・修繕履歴と竣工図等の保管・利用状況を調査した結果、浄水場毎に修繕履歴等の台帳が異なっていること、竣工図面等について一部紙ベースで保管・管理されている実態が把握でき、今後のアセットマネジメント(資産管理)の継続的改善に向けて統一の必要性を確認できました。また、共有サーバの容量を調査した結果、増設や専用サーバを設けることなく現状利用が適切との検討結果を得ることができ、電子データ保管の方向性を得ることができました。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-2	定員・給与の適正化	所管課	総務課
----	---	---------	--------	-----	-----------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	独立採算で運営する水道事業は、最小のコストで最大の効果を得よう努める必要があります。健全な運営のために求められる人的資源の最適化を常に追求しつつ、事業運営の効率化を推進します。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	定員の適正化 ・業務の見直しや民間委託などにより、定員の適正化を進めます。 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施します。 給与の適正化 ・職員給与については、市長事務部局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。	定員の適正化 ・業務の見直しや民間委託などにより、定員の適正化を進めます。 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施します。 給与の適正化 ・職員給与については、市長事務部局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	0		0						
	執行額(b)	0								
	執行率(%) (b) / (a)	-		#DIV/0!		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	480時間	480時間		480時間					
	期間(d) (作業従事職員数)	2人	2人	100%	2人					
	単位あたりの作業量(c/d)	240時間	240時間		240時間					
	(1人あたりの年間作業時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理を行いました。 年度末職員数 345名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。	定員の適正化 ・平成28年度より委託する新設調査業務について業務分析を行い、適正な人員を削減しました。 ・平成29年度より委託予定の料金徴収部門について調整を進めるとともに、今後増える施設更新等に対応する適正定員について検討を行いました。 年度末職員数 342名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		定員の適正化	2点										
		給与の適正化		1点									
	平均(A)	1.5点			平均(A)				平均(A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
職員数(人) (年度末職員数≦職員定数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	346人	346人	330人以下	342人	101%	4点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	4点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 職員定数については、今後の業務見通しや再任用職員数の増減等を考慮し、次年度体制を見据えた中で、時機を逸することなく適正に行うことができました。 給与改定については、市長部局の改正に連動して、遅滞なく実施することができました。 (職員定数、給与とも、経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します。)								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 職員定数346人のところ、年度末職員数342人であったため、定数管理は適正に行うことができました。 給与は市長部局の改正のタイミングに併せ、同じ水準で見直しを行いました。 								
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	8点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-3	業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	所管課	営業課
----	---	---------	--------	-----	---------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	事業の経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向けた検討を進め、効果が見込める業務について委託化に取り組みます。特に、水道料金等収納業務については、平成29年度からの委託化に向けた準備を進めます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度 業務委託の実施に向けた検討や準備 ・基本方針を決定します。 ・準備計画の策定をします。	28年度 業務委託の実施に向けた検討や準備 ・業者選定・契約をします。 ・業務引き継ぎ準備をします。	29年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0			-					
	執行額(b)	0								
	執行率(%) (b) / (a)	-			#VALUE!			#DIV/0!		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働月数)	12ヶ月	12月		12ヶ月					
	期間(d) (作業従事職員数)	10人	10人	100%	10人					
	単位あたりの作業量(c/d)	1.2ヶ月/人	1.2月		1.2ヶ月/人					
	(1人あたりの作業量)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度					
	・水道事業の経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的観点から業務委託の委託範囲について、費用対効果及びお客さまサービス向上を考慮し、決定しました。	業務委託の実施に向けた検討や準備												
		・基本方針を決定しました。 ・準備計画の策定をします。												
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~	
		基本方針の決定		1点										
		準備計画の策定		1点										
	平均(A)	1.0点			平均(A)					平均(A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
水道料金等収納業務 委託の実施 H27:基本方針の決定・準備 H28:準備・業者選定 H29:実施	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実施	実施	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	3点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	基本方針の決定及び準備計画の策定に加え、課題整理等を行うため、検討委員会及び分科会を設け定期的会議を開催し、目標どおり達成しました。事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	基本方針を決定し、平成29年度の委託化実施に向けた計画及び準備(料金関係職員の意見を取込んだ仕様書、実施要領、業務手順書等の策定など具体的準備)を行いました。平成28年度においては、目標とする更なる委託化の準備と委託業者の決定に向けた諸種整備を行っていきます。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持		
【方向性】	経営審議会総評 引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	経営審議会総評	経営審議会総評

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	V経営基盤の強化	事業・取組名	V-4	遊休資産の有効活用	所管課	経営管理課
----	---	----------	--------	-----	-----------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	施設統廃合計画により廃止となった浄配水場等の遊休資産を有効活用することにより、財政基盤の強化を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度 ・施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続 情報収集・調査・研究をします。 ・太陽光発電用地としての有償貸付(20年間)[長戸呂浄水場跡地, 亀田配水場跡地, 西川浄水場跡地](平成26年度現在) 設置工事の開始, 発電の開始をします。	28年度 ・施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続 情報収集・調査・研究をします。 ・太陽光発電用地としての有償貸付(20年間)[長戸呂浄水場跡地, 亀田配水場跡地, 西川浄水場跡地](平成26年度現在) 設置工事の開始, 発電の開始をします。 →事業中止	29年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	91,692			91,692					
	執行額(b)	0			0					
	執行率(%) (b)/(a)	0%			0.0%			#DIV/0!		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	177.6	177.6		177.6					
	時間(h)									
	期間(d)	2	2	100%	2					
	人									
	単位あたりの作業量(c/d)	88.8	88.8		88.8					
	h/人	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
		施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続 ・平成26年度に、当局が所有する廃止浄水場跡地について、太陽光発電の実施を土地利用の条件として有償貸し付けを行う「民間事業者による太陽光発電事業」を公募型プロポーザル方式で募集を行い、発電事業者を決定、基本協定を締結しました。しかし、固定価格買い取り制度の見直しに伴う事業収支計画の変更により、発電事業者側から事業性が見込めないとの申し出があったことから、本事業の中止を判断しました。 ・これまでの取組み内容と課題を整理し、入札参加者確保の可能性の高い遊休資産について、適正な売却価格の算定に着手しました。 ・今後は、遊休資産の有効活用に向けた情報収集や調査・検討を継続して行うとともに、遊休資産の売却も視野に入れて検討を行います。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続		1点									
		太陽光発電用地としての有償貸付			0点								
	平均(A)	0.5点			平均(A)				平均(A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
有効活用の 実施・協議・調整等 累計施設数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	3施設以上	1施設	1施設	0	0%	1点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	3施設以上	4施設以上	5施設以上	0	0%	1点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・太陽光発電事業の中止により、当初予定されていた予算の執行が不要となったため、予算の執行率は予定以下となり、計画に対する結果も予定以下となりました。 ・事業中止の判断は、固定価格買い取り制度の変更によるため、効率性が低下したやむ負えない理由に該当すると判断しました。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	1点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・太陽光発電事業の中止となったため、期待する結果は得られませんでした。今後は、売却に向けた需要を確認しながら、新たな遊休資産を有効活用する手法等を検討します。 ・事業中止の判断は、固定価格買い取り制度の変更によるため、有効性が低下したやむ負えない理由に該当すると判断しました。								
評価結果	達成度	1点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	1点	D	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	1点	3点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	改善・見直し 経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	太陽光発電事業者への有償貸付は残念な結果であったが、遊休資産の有効活用は、経営基盤の強化を図るために有効な事業である。 今後は、売却も含めた新たな有効活用について、情報収集や調査・研究を進め、財政基盤の強化に努めること。		

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	V経営基盤の強化	事業・取組名	V-5	時代に即した料金制度等の検討・実施	所管課	経営管理課
----	---	----------	--------	-----	-------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水需要や財政収支の状況を踏まえ、将来にわたり安全な水の安定供給の持続が可能となるよう、維持管理・更新の時代に即した料金制度の検討を行います。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度 ・料金体系の調査研究、見直し案の検討 他事業体の料金体系の調査・研究をします。 ・料金改定の必要性、時期、水準の検討 調査・研究をします。	28年度 ・料金体系の調査研究、見直し案の検討 他事業体の料金体系の調査・研究をします。 ・料金改定の必要性、時期、水準の検討 調査・研究をします。	29年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0			0					
	執行額(b)	0								
	執行率(%) (b) / (a)	-			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	22.2時間	22.2時間	100%	22.2時間					
	期間(d) (人員)	2人	2人		2人					
	単位あたりの作業量(c/d)	11.1時間	11.1時間		11.1時間					
	(1人あたりの作業時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度					
	他政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較(政令市)を行いました。	・料金水準等の調査研究のための基礎資料とするため、他政令市と県内市町村の料金体系、料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較(政令市)等を行いました。												
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		
	料金体系の調査研究、見直し案の検討		1点											
	料金改定の必要性、時期、水準の検討		1点											
	平均(A)	1.0点			平均(A)					平均(A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
「水道料金算定要領」 に基づく 料金シミュレーション	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	調査研究	調査研究	見直し案作成	実施	実施		3点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	—	—	—	—	—	3点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	他政令市と県内市町村の料金改定状況等を調査し、比較検証を行いました。また、予算効率は、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	時代に即した料金制度等の検討のための、基礎資料の収集を行いました。また、重要な事業・取り組みであることから、持続可能な経営を構築することを目的に社会経済情勢や財政収支などを見据えながら、引き続き調査研究を行います。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	V経営基盤の強化	事業・取組名	V-6	水道事業経営審議会の効果的運用	所管課	経営管理課
----	---	----------	--------	-----	-----------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水道事業経営審議会继续し、有識者や水道利用者などの第三者の意見や助言を事業運営に効果的に反映させます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	・水道事業経営審議会の継続運営 継続運用と委員の選考を行います。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	737,337		593,846						
	執行額(b)	539,460								
	執行率(%) (b) / (a)	73%		0.0%		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	99.9時間	99.9時間	100%	99.9時間					
	期間(d) (人員)	3人	3人		3人					
	単位あたりの作業量(c/d) (1人あたりの作業時間)	33.3時間	33.3時間		33.3時間	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)
		(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度					
	審議を11月と3月の2回開催しました。審議会の議事録は、会議資料と合わせ、局ホームページに掲載しました。	水道事業経営審議会(2回/年)を開催し、意見、提言、助言をいただきました。審議会の議事録は、会議資料と合わせ、局ホームページに掲載しました。また平成27年10月に公募委員2名の改選があり、新たに2名就任いただきました。												
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~	
		水道事業経営審議会の継続運営		1点										
		平均(A)	1.0点			平均(A)				平均(A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
新・マスタープラン 事業実施状況に対する 意見・提言の聴取と反映	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	—	—	—	—	—	3点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	水道事業経営審議会を2回開催し、委員の改選も予定どおり実施できました。予算効率・作業効率も予定枠内となり、目標どおり達成しています。								
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	7点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	今年度は、水道事業経営審議会を2回開催し予算・決算及び旧マスタープランへの意見・提言をいただきました。また、新・マスタープランの評価方法について、意見・提言をいただき評価表及び評価方法などへ反映をしました。 引き続き、水道事業経営審議会を開催し、意見や助言を事業運営に反映し、信頼される水道事業を目指します。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-1	戦略的な広報の実施	所管課	総務課
----	----	---------------------	--------	------	-----------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	「新潟市水道局広報戦略」～広報活動の考え方～に基づき、継続的に広報計画を策定し、効果的な広報活動を展開します。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	独自イベント ・施設見学など お客さまに直接働きかける広報 ・災害パネル展示, 出前講座など デジタルメディアを活用する広報 ・ホームページなど 紙媒体による広報 ・広報紙, 検針票裏面など 漫画を活用する広報 ・小学生向けパンフレット, 工事看板など 浄水場見学のための施設改修, 整備	独自イベント ・施設見学など お客さまに直接働きかける広報 ・災害パネル展示, 出前講座など デジタルメディアを活用する広報 ・ホームページなど 紙媒体による広報 ・広報紙, 検針票裏面など 漫画を活用する広報 ・小学生向けパンフレット, 工事看板など 浄水場見学のための施設改修, 整備	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	39,113,701		42,490,709						
	執行額(b)	39,073,959								
	執行率(%) (b) / (a)	100%		0.0%		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	1920時間	1920時間		1920時間					
	期間(d) (実働月数)	12カ月	12カ月	100%	12カ月					
	単位あたり の作業量(c/d)	160時間	160時間		160時間					
	(1月あたりの作業時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	・広報紙(水先案内)の紙面構成をこれまで以上に『読み手』を意識した内容に改めるとともに、配布方法を変更することにより、認知度を高めることができました。また、配布のための経費削減も図れました。	・水道週間行事を見直したり、他団体のイベントに積極的に参加し、水道水の魅力をアピールしました。また、お客さまアンケートで出された質問に対し、優先順位を付け広報紙で回答をすることで、お客さまの知りたい情報も提供しました。 施設見学者やイベントへの参加者が増加していることから、水道局の魅力を発信できていると考えられます。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		独自イベント		1点									
		防災パネルの展示, 出前講座		1点									
		ホームページ		1点									
		広報紙, 検針票裏面広告		1点									
小学生向けパンフレット		1点											
	平均(A)		1.0点		平均(A)				平均(A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
お客さまアンケートに おける広報紙「水先案内」の認知度(%)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	64%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
「新潟市水道局広報戦 略」に基づく 効果的な広報の実施	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	—	実施	実施	実施	3点	—	—	—	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	予算や体制については、計画的に実施され、目的は達成できました。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	施設見学者、イベント参加者が増加し、水道水の魅力をアピールできたと考えられるため、有効でありました。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-2	お客さまの意見・要望の把握	所管課	総務課
----	----	---------------------	--------	------	---------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	本市水道事業における基本理念である「すべてのお客さまに信頼される水道」を実現するためには、お客さまが水道事業に求めるものを的確に把握して施策に反映させるなど、お客さまの視点に立った事業運営に努める必要があります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	水道モニター制度運用 ・水道モニター制度を継続実施し、お客さまの意見、要望等を直接、継続的に聴取します。	お客さまアンケートの実施 ・お客さまアンケート調査を継続実施することにより、お客さまの水道事業に対する意見、要望を的確にとらえ、事業運営の基礎資料とします。 水道モニター制度運用 ・水道モニター制度を継続実施し、お客さまの意見、要望等を直接、継続的に聴取します。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	468,762		1,996,302						
	執行額(b)	288,363								
	執行率(%) (b) / (a)	62%		0.0%		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	120時間	120時間		120時間					
	期間(d) (実働月数)	12カ月	12カ月	100%	12カ月					
	単位あたりの作業量(c/d)	10時間	10時間		10時間					
	(1月あたりの作業時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度					
	・アンケート回収率の向上を図るため、締切の1週間前に回答への御礼と再度の案内を兼ねたハガキを発送しました。 ・水道モニターについては、天候により変更を余儀なくされたプログラムもありましたが、概ね計画通り実施することができました。	公募による22名の水道モニターで研修会や施設見学など計5回開催しました。予定していたメニューはすべて消化でき、内容もグループ討議手法も取り入れるなどの工夫をしながら実施しました。												
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~	
		水道モニター制度運用		1点										
		平均(A)		1.0点		平均(A)				平均(A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
お客さまアンケート調査 の実施(件) H28:一般家庭対象 H29:事務所対象	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	3000件	1000件	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
水道モニター活動回数 (回) (モニター会議, 施設見学 会等開催数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	5回	5回	5回	5回	100%	3点	—	—	—	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	予算より少ない執行額で予定のメニューをこなせたことで、効率的に実施できました。								
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	7点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	予定通りにプログラムを遂行できたことで、水道事業について理解を得ることができました。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-3	分かりやすい経営情報の開示	所管課	経営管理課
----	----	---------------------	--------	------	---------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	これからの水道事業に要する費用負担のあり方や経営の効率化に対する取組みなどについて、分かりやすくお客さまにお知らせし、水道事業経営の透明性の向上を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度 ・料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供 ・経営効率化に関する取組み情報の提供	28年度 ・料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供 ・経営効率化に関する取組み情報の提供	29年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	0		0						
	執行額(b)	0								
	執行率(%) (b) / (a)	-		#DIV/0!		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	128.8時間	128.8時間		128.8時間					
	期間(d) (人員)	6人	6人	100%	6人					
	単位あたりの作業量(c/d) (1人あたりの作業時間)	21.5時間 (ア)	21.5時間 (イ)	(イ/ア)	21.5時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度					
	平成25年度分の事務事業評価を実施し、評価結果をホームページに掲載しました。 業務指標を局ホームページに公表したほか、供給単価と給水原価の政令市比較を行いました。また、決算概要などを分かりやすく広報紙「水先案内」に掲載しました。 水道事業中長期経営計画の施策目標ごとに関連付けた業務指標の成果について、局ホームページに公表しほか、行革プラン2013の取組結果を市ホームページに掲載しました。	・「水道料金について」、「他都市料金比較」及び「決算概要」を広報紙「水先案内」に掲載しました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び平成26年度事務事業評価の結果をホームページで公表しました。また、総務省通知「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」に基づき、平成26年度水道事業会計決算の経営比較分析表を新たに、ホームページで公表しました。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供		1点									
		経営効率化に関する取組み情報の提供		1点									
	平均(A)	1.0点			平均(A)	平均(A)							

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供 (ホームページおよび水先案内に掲載)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	1回/年以上	1回/年以上	1回/年以上	1回/年以上(2回)	100%		3点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	—	—	—	—	—	3点								
経営効率化に関する取り組み情報の提供 (ホームページおよび水先案内に掲載)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	1回/年以上	1回/年以上	1回/年以上	1回/年以上(2回)	100%		3点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	—	—	—	—	—	3点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	料金設定の仕組みおよびコスト情報、経営効率化に関する取り組み情報の提供を予定どおり行いました。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供、経営効率化に関する取り組み情報の提供について、イラストや図表、分かりやすい内容で広報誌「水先案内」、ホームページで提供しました。引き続き分かりやすい内容となるよう努めていきます。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-4	放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	所管課	経営管理課
----	----	---------------------	--------	------	-------------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	放射性物質を含む浄水汚泥について、厳重な保管・管理を徹底するとともに、水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度の検査結果、浄水場等における放射線量などについて、お客さまに対し情報提供を行います。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	保管管理, 検査, 有効利用, 情報提供 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用の継続 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度, 浄水場周辺の放射線量などの検査の継続 ・ホームページ等による検査結果, 情報提供の継続 ・200Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について, 国・県への積極的な要望の継続	保管管理, 検査, 有効利用, 情報提供 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用の継続 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度, 浄水場周辺の放射線量などの検査の継続 ・ホームページ等による検査結果, 情報提供の継続 ・200Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について, 国・県への積極的な要望の継続	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	449,949,308		404,181,000						
	執行額(b)	285,179,223								
	執行率(%) (b) / (a)	63%		0%		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	753	753		753					
	時間(h)									
	期間(d)	55	55	100%	55					
	期間(人)									
単位あたりの作業量(c/d)	13.7	13.7		13.7						
	h/人	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	-	・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理を行いました。 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効活用及び水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度, 浄水場周辺の放射線量の検査を継続して行いました。また, 調査した検査結果は, ホームページ等で情報提供を行いました。 ・200Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分については, 環境省及び新潟県に日水協新潟県支部として要望書の提出を行いました。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		・保管管理, 検査, 有効利用, 情報提供		1点									
		平均(A)	1.0点			平均(A)				平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
汚泥保管施設における放射線量測定結果の情報開示の継続	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	開示	開示	開示	実施	実施 3点		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	-	- 3点		-	-		-	-		-	-
放射性物質濃度の分析調査結果の情報開示の継続	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	開示	開示	開示	実施	実施 3点		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	-	- 3点		-	-		-	-		-	-
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・予算の執行率は、放射能検査業務の予定検体数、予定検査数が減少したことに加え、汚泥処分量が減少したことにより、予定以下となりました。 ・事業取組は、予定通り行われました。								
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	7点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・汚泥保管施設における放射線量測定結果及び放射性物質濃度の分析調査結果については、適切に情報開示を行いました。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VII	技術・知識を有する人材の確保と育成	事業・取組名	VII-1	人材育成と専門性の強化	所管課	総務課
----	-----	-------------------	--------	-------	-------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	水道事業は専門性が高いため継承すべき技術が多く、施設整備計画の策定、設計施工管理、危機管理および現場対応力など、これらはいずれも高度な知識と経験が求められます。事業の持続のためには、専門知識と実務経験を併せ持つ職員の確保と育成が重要となります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度 技術系新規採用職員の独自採用, 教育配転 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。 各種研修の実施 ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施し, 研修計画を適宜, 見直ししながら充実を図ります。 水道研修センターの運用 ・水道研修センターの効果的運用を図ります。	28年度 技術系新規採用職員の独自採用, 教育配転 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。 各種研修の実施 ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施し, 研修計画を適宜, 見直ししながら充実を図ります。 水道研修センターの運用 ・水道研修センターの効果的運用を図ります。	29年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	3,660,160		3,672,760						
	執行額(b)	3,358,015								
	執行率(%) (b) / (a)	92%		0.0%		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	1900時間	1900時間		1900時間					
	期間(d) (作業従事職員数)	1人	1人	100%	1人					
	単位あたりの作業量(c/d)	1900時間	1900時間		1900時間					
	(1人あたりの年間作業時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度			
	・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、民間企業等経験者を対象とした採用試験を実施し、人材の確保に努めました。	・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、民間企業等経験者を対象とした採用試験を実施し、人材の確保に努めました。										
	・新規採用職員(技術職)のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。	・新規採用職員(技術職)のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。										
	・「技術研修計画」に基づく研修を確実に実施するとともに、研修計画を見直し、研修の充実を図りました。	・水道研修センターの運用に関しては、会議での利用等、研修以外の目的でも促進を図ったことで効率的な運用が図れました。										
	・職員研修はもとより、「配水管工技能講習会」や「給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会」等、外部の技術者育成の場として活用しました。											
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
	技術系新規採用職員の独自採用, 教育配転		1点									
	各種研修の実施		1点									
	水道研修センターの運用		1点									
	平均(A)		1.0点		平均(A)				平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点			
年間内部研修実施時間(時間) (延べ年間研修時間/ 年度末職員数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	0点	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)				
	14.6時間	15.2時間	15.8時間	16.1時間	110%		4点								
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	—	—	—	—	—	4点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)				
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)				
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)				
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)				
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	予算より少ない執行額で予定の研修を実施できたことから、効率的に実施できました。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・民間経験者も含め、新規採用職員の独自採用を継続実施することにより、組織の年齢構成上、今後の技術継承に資する人員体制を確保することができました。 ・利用促進を図ったことで水道研修センターの稼働率も上がり有効でありました。(施設稼働率89.6%, うち研修での稼働率43.2%)								
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	8点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VII	技術・知識を有する人材の確保と育成	事業・取組名	VII-2	諸外国との水道技術研究交流	所管課	総務課
----	-----	-------------------	--------	-------	---------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	我が国の水道事業は高度な技術のもと管理・運営されており、世界のトップランナーとして国際的にも高い評価を得ていることから、その技術・経験を国際貢献・国際協力に生かすことが期待されています。本市においても、水道技術の国際交流を通じた中で、国際的な視野と見識を持った人材の育成を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度 ・国際会議等へ積極的に職員を派遣します。 ・日米台水道地震対策ワークショップへの参加 ・水道技術国際シンポジウム等への参加 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加	28年度 ・国際会議等へ積極的に職員を派遣します。 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加 (水道技術国際シンポジウム:3年に1回開催, 次回は30年度) (日米台水道地震対策ワークショップ:2年に1回開催, 次回は29年度)	29年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	373,390			45,921					
	執行額(b)	633,150								
	執行率(%) (b) / (a)	170%			0.0%			#DIV/0!		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	9時間	9時間		3時間					
	期間(d) (作業従事職員数)	1人	1人	100%	1人					
	単位あたりの作業量(c/d)	9時間	9時間		3時間					
	(1人あたりの年間作業時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度			
	・国際会議等に積極的に職員を派遣し、先進都市の諸外国への貢献事例等の情報収集を行いました。 ・東京都で開催された自治体水道国際展開プラットフォーム第6回会議に2名参加(H27.1)	・国際会議等に積極的に職員を派遣し、先進都市の諸外国への貢献事例等の情報収集を行いました。 ・仙台市で開催された日米台水道地震対策ワークショップに2名参加(H27.10) ・神戸市で開催された水道技術国際シンポジウム等に3名参加(H27.7) ・東京都で開催された自治体水道国際展開プラットフォーム第7回会議に2名参加(H28.1)										
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
			1点									
			1点									
			1点									
	平均(A)	1.0点			平均(A)				平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
国際研修等への 参加人数 (人)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	2人	2人	2人	7人	350% 5点		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点					
	2人	4人	6人	7人	350% 5点							
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
							実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)							
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
							実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)							
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
							実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)							
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
							実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)							

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・国際会議への参加を通じて、先進都市の諸外国への貢献事例等の最新情報を収集することができました。								
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	5点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	海外へ事業展開する際の課題や方向性等について、派遣者は当然のこと、派遣者を通じて当該情報の共有化を図ることにより、国際的視野を持った人材の育成につなげていくことができました。								
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	10点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	経営審議会総評 引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VIII	環境に配慮した事業運営	事業・取組名	VIII-1	建設副産物の再利用促進	所管課	技術管理室
----	------	-------------	--------	--------	-------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	建設副産物の再利用により、CO2排出量の削減や省エネルギー化を図り、環境保全への社会的責任を果たします。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土を改良し、埋戻し材としての再利用を進める。再生土を利用した工事の発注を継続して実施する。	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土を改良し、埋戻し材としての再利用を進める。再生土を利用した工事の発注を継続して実施すると共に、再利用箇所の精査を行い、率の向上に繋げる。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	0		0						
	執行額(b)	0								
	執行率(%) (b) / (a)	-		#DIV/0!		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	10時間	10時間		10時間					
	期間(d) (作業従事職員数)	2人	2人	100%	2人					
	単位あたりの作業量(c/d)	5時間	5時間		5時間					
	(1人あたりの年間の作業時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土を改良し、埋戻し材としての再利用を行いました。再生土を利用した工事の発注を行いました。(再生率19.6%)	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・建設発生土について、埋戻しに適する発生土は再利用し、適さない発生土は改良し、再利用を行いました。 その結果、昨年度より若干再生率は低下しましたが、予想どおり推移しました。(再生率16.9%)											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		改良土の利用促進		1点									
		平均(A)		1.0点		平均(A)				平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
建設副産物の リサイクル率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点 0点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	39.2%	37.7%	現状値以上	37.70%	96%		3点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	—	—	—	—	—	3点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	設計積算の改定において、条件によっては改良土使用単価が山砂使用単価より安価のケースが発生するため、今後も再生土使用を進めます。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	昨年度と同じく幹線・支管更新工事エリアが、地質条件不良と地下埋設物が輻射している市内中心部にシフトしてきた事により、再生土利用する工事の発注件数が減少しています。また、再生プラントへの再生土搬入ができない夜間工事が増加傾向にあるため、再生土利用が難しい状況です。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VIII	環境に配慮した事業運営	事業・取組名	VIII-2	水道局環境計画の策定と推進	所管課	経営管理課
----	------	-------------	--------	--------	---------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水道局として環境負荷の少ない水作りを推進するため、「水道局環境計画」を策定するとともに、環境負荷低減に向けた取り組みを推進していきます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	・水道局環境計画の策定、運用 計画の策定 ・環境会計の作成・公表 作成および公表 ・省エネルギー対策の推進 浄水場施設整備に併せた省エネ設備への切り替え	・水道局環境計画の運用 計画の運用 ・環境会計の作成・公表 作成および公表 ・省エネルギー対策の推進 浄水場施設整備に併せた省エネ設備への切り替え	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	0		0						
	執行額(b)	0								
	執行率(%) (b) / (a)	-		#DIV/0!		#DIV/0!				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	118.4	118.4		29.6					
	時間(h)									
	期間(d)	2	2	100%	4					
	期間(人)									
	単位あたりの作業量(c/d)	59.2	59.2		7.4					
	h/人	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度				
	環境会計について、平成27年度は、26年度決算版を作成し、ホームページ等で公表した。	・省エネルギー対策の推進として、新潟市水道局環境計画の策定を行うとともに、満願寺浄水場の天日乾燥床整備事業に着手しました。 ・環境会計を作成し、ホームページ等に公表するなど、環境施策の情報提供を行いました。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~
		・水道局環境計画の策定、運用		1点									
		・環境会計の作成・公表		1点									
	・省エネルギー対策の推進		1点										
	平均(A)		1点		平均(A)					平均(A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
水道局環境計画の 策定・運用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	0点	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
環境会計の 作成・公表	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	0点	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでしたので、予算の執行率は、予定通りとみなして評価しました。 ・事業取組としては、環境計画の策定や環境会計の作成・公表、省エネルギー対策を予定通り実施しました。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	点	総合評価	予算効率	点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	点		作業効率	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・環境負荷を軽減するために、水道局環境計画を策定しました。今後、この計画に基づいて、環境配慮に関する取り組みを実施していきます。 ・環境会計の策定、公表を行い、環境施策と効果について、市民に情報提供を行いました。 また、進捗度は、事業の性質上評価ができませんでした。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	点		進捗度	点	
	外的要因加点	0点	6点/10点	実施方法	点	点/10点	実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

施策	事業・取り組み	方向性	経営審議会総評（局案）	経営審議会総評（事前意見等）	経営審議会総評（案）
I 水質管理の充実・強化	I-1 水源水質の監視	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	I-2 水安全計画の充実・適切な運用	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	I-3 水質管理体制の強化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	I-5 分かりやすい水質情報の提供	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
II 給水装置における水質保持	II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	II-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	II-3 指定給水装置工事業者の技術力向上	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
III 水道施設の計画的更新	III-1 浄配水施設の計画的更新	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	III-2 管路施設の計画的更新	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	III-3 鉛給水管の計画的更新	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		

施策	事業・取り組み	方向性	経営審議会総評（局案）	経営審議会総評（事前意見等）	経営審議会総評（案）
IV 震災対策・体制の強化	IV-1 浄配水施設の計画的耐震化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	IV-2 管路施設の計画的耐震化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	IV-3 重要施設向け配水管の耐震化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	IV-4 配水管網のブロック化の推進	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	IV-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	IV-6 事故・災害時における復旧体制の強化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
V 経営基盤の強化	V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	V-2 定員・給与の適正化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	V-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	V-4 遊休資産の有効活用	改善・見直し	太陽光発電事業者への有償貸付は残念な結果であったが、遊休資産の有効活用は、経営基盤の強化を図るために有効な事業である。 今後は、売却も含めた新たな有効活用について、情報収集や調査・研究を進め、財政基盤の強化に努めること。		
	V-5 時代に即した料金制度等の検討・実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	V-6 水道事業経営審議会の効果的運用	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		

施策	事業・取り組み	方向性	経営審議会総評（局案）	経営審議会総評（事前意見等）	経営審議会総評（案）
VI積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	VI-1 戦略的な広報の実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	VI-2 お客さまの意見・要望の把握	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	VI-3 分かりやすい経営情報の開示	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	VI-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
VII技術・知識を有する人材の確保と育成	VII-1 人材育成と専門性の強化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	VII-2 諸外国との水道技術研究交流	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
VIII環境に配慮した事業運営	VIII-1 建設副産物の再利用促進	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		
	VIII-2 水道局環境計画の策定と推進	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		

施策	事業・取り組み	方向性	経営審議会総評（局案）	経営審議会総評（局案）に対する事前意見等	経営審議会総評（案）
I 水質管理の充実・強化	I-1 水源水質の監視	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	I-2 水安全計画の充実・適切な運用	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	I-3 水質管理体制の強化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	I-5 分かりやすい水質情報の提供	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
II 給水装置における水質保持	II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	II-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	II-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
III 水道施設の計画的更新	III-1 浄配水施設の計画的更新	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	III-2 管路施設の計画的更新	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	III-3 鉛給水管の計画的更新	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。

施策	事業・取り組み	方向性	経営審議会総評（局案）	経営審議会総評（局案）に対する事前意見等	経営審議会総評（案）
IV 震災対策・体制の強化	IV-1 浄配水施設の計画的耐震化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	IV-2 管路施設の計画的耐震化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	IV-3 重要施設向け配水管の耐震化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	IV-4 配水管網のブロック化の推進	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	IV-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	IV-6 事故・災害時における復旧体制の強化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
V 経営基盤の強化	V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	V-2 定員・給与の適正化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	V-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	V-4 遊休資産の有効活用	改善・見直し	太陽光発電事業者への有償貸付は残念な結果であったが、遊休資産の有効活用は、経営基盤の強化を図るために有効な事業である。 今後は、売却も含めた新たな有効活用について、情報収集や調査・研究を進め、財政基盤の強化に努めること。	<ul style="list-style-type: none"> 遊休資産活用について引き続き検討願いたい。ただし、遊休資産保有によりコストが発生している場合、早めの売却判断も必要 多くの事業、取り組みにおいて維持が続く中、この項目は、これからの強化において重要なこと。スタッフ以外からも幅広い知見によって進めてほしい。 	太陽光発電事業者への有償貸付は残念な結果であったが、遊休資産の有効活用は、経営基盤の強化を図るために有効な事業である。 また、遊休資産保有によりコストが発生している場合、早めの売却判断も必要であることから、売却も含め新たな有効活用について、幅広い知見、情報収集、調査・研究を進め、財政基盤の強化に努めること。
	V-5 時代に即した料金制度等の検討・実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	V-6 水道事業経営審議会の効果的運用	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。

新・マスタープラン2次評価結果一覧表

施策	事業・取り組み	方向性	経営審議会総評（局案）	経営審議会総評（局案）に対する事前意見等	経営審議会総評（案）
Ⅵ積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	Ⅵ-1 戦略的な広報の実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・広報関係は昨年度から、ずいぶんわかりやすく変化してきたと思う。他の部署との連携も功を奏したと思う。 	局作成の原案どおりとします。
	Ⅵ-2 お客さまの意見・要望の把握	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	Ⅵ-3 分かりやすい経営情報の開示	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	Ⅵ-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
Ⅶ技術・知識を有する人材の確保と育成	Ⅶ-1 人材育成と専門性の強化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・大切な水環境は世界的な問題、色々な方面から学んできてほしい、また、新潟市水道局の技術面もおおいに発揮し、これからは見据えた士気を高める方向で進んでほしい。 	局作成の原案どおりとします。
	Ⅶ-2 諸外国との水道技術研究交流	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		<ul style="list-style-type: none"> ・大切な水環境は世界的な問題であることも認識し、情報収集に努めるとともに、新潟市水道局としての技術を生かすことを含め、引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
Ⅷ環境に配慮した事業運営	Ⅷ-1 建設副産物の再利用促進	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。
	Ⅷ-2 水道局環境計画の策定と推進	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		局作成の原案どおりとします。

平成28年度 第1回水道事業経営審議会 事前質問・回答一覧

1. 平成27年度水道事業会計決算報告について

資料番号	ページ	ご質問内容	回答
資料2	P.11	経営分析指標に負荷率を入れた方が良いのではないかと。施設利用率はあくまでも平均利用率であるから、水道事業のように季節によって需要変動のある事業については、最大稼働率、負荷率と併せて施設規模をみるのが大切。	決算説明資料については、来年度に向け内容等の見直しをかけることとしており、その中で、経営分析指標として記載すべき項目についても、委員のご指摘も踏まえながら、再度検討したいと考えております。
参考資料2	—	給水原価の上昇により供給単価との差が縮まっており、今後逆ざやになる可能性もあるので、より一層の費用の抑制が必要。給水収益の増加が見込めない中、特に遊休資産については早期の活用による増収が望まれる。	更新需要の増加に対し、水需要の低減傾向と給水収益の減少傾向が続くことが想定されるという厳しい経営環境において、財源確保のためには、ご指摘のとおり、徹底した経費の削減に努める必要があると考えています。 また、「遊休資産の活用」は、財源確保策として有効な手段であることから、処分にに向けた情報収集、調査、検討を継続して行うこととしています。 しかし、当該資産の所在地の大半が、利活用に制限のある市街化調整区域にあること、加えて、存置されている浄配水施設などの構築物、構造物（地下埋設物を含む。）の撤去に多額の費用がかかることから、処分にに向けたハードルは高いと考えています。

2. 新・マスタープラン事業評価

事業・取り組み	所管課	ご質問内容	回答
I-2 水安全計画の充実・適切な運用	水質管理課（浄水課）	マニュアル改定の実効性及びその浸透についての検証はどのように実施するか（訓練等の実施予定は）	毎年度末に、浄水場ごとに実施状況の検証を行い、管理基準や管理措置の妥当性を評価します。そして、必要に応じて計画の見直しを行います。 また、国が所管する水質汚濁対策連絡協議会が実施する水質事故想定訓練等に参加しており、今後は水安全計画に反映させていきます。
I-3 水質管理体制の強化	水質管理課	OJTが確実に実施される環境整備とは具体的にどのようなことか	技術継承を行うために、機器分析など分析技能を必要とする業務の担当者を定期的に変更し、前任者からの指導を受けることができるよう係横断的に業務ローテーションを行える環境と体制を整備しています。
		水質管理技術承継に関して、公的な資格等第三者からも認定されるような基準等はあるのか	水道GLPにおいて技術継承に係る個別の取り組みは教育訓練実施記録として保管し、4年ごとの更新審査を受け認定を維持しています。 分析技術者としての公的な資格基準はありませんが、厚労省が実施する精度管理試験に参加し、評価を受けています。
I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	水質管理課	マトリックスでの予算効率2点となるが、執行率の150%は大きな超過と恐れ、その具体的な改善策や対処方法等は十分なのか（単なる阿賀野川異常臭気に伴う一過性の事象として捉えるだけでいいのか）	予算執行率の増大は阿賀野川異常臭気事案に対応した結果です。臭気原因物質は閾値（臭気を感じる濃度）が非常に低い物質であり、通常の臭気対応に比べ活性炭注入が高濃度かつ長期間に及んだことにより発生原因の究明や再発防止策については、河川管理者や環境行政と連携して取り組んでいきます。

事業・取り組み	所管課	ご質問内容	回答
I-5 分かりやすい水質情報の提供	水質管理課	平成27年度の実績として、「市政さわやかトーク宅急便」以外にも、「水質センターへの市民見学会」が積極的に実施されているが、効果的な広報になると考えられるので、市民見学会についても目標設定項目として盛り込んでどうか	広報の充実は今後も取り組むべき重要な課題であり、市政さわやかトーク宅急便をはじめ、小学校への出張授業、水質管理センターの見学や各種イベント時のきき水体験、ろ過実験などの「体験型広報」の充実に取り組んでいます。27年度の実施回数は上記の合計数であり、今後は目標値の見直しを検討します。
II-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	管路課	管理指導体制のより一層の強化に向け、平成28年度より一部業務を委託する方針とのことであるが、目標達成度について再検討・再設定が必要ではないか	貯水槽清掃の実施率は、全体的に上昇傾向にありますが、年度ごとにバラツキがあることから、単年度の結果を基にした目標変更は行えないものと考えています。委託化の結果を踏まえ、中期実施計画策定時には目標値の再設定を行います。
III-1 浄配水施設の計画的更新	計画整備課	計画的な設備更新にあたり、予算執行率が低く、予定通りの更新投資が行われているのか 予算執行額が予算額に比べ約3億5000万円低い状況であることに加え、工法変更等による目標出来形が未達成であったことなどを踏まえ、効率性評価が「B」であることについて、整合性がとれているか	この事業の対象となった工事の一部は、次年度に繰り越されています。工事の繰越に伴い、財源となる工事費も次年度に繰り越していますが、予算の執行率を算出する際に、予算額から次年度執行見込みの繰越分を控除しなかったために、執行率が見かけ上低くなってしまいました。委員からの、ご質問、ご指摘を受け、再度精査し、上記の点については是正し、執行率を訂正しました。なお、現在、繰越部分を含め工程調整により遅れは回復し、整備事業も予定通り進んでいます。今後も老朽化設備の更新を確実に実施し、浄水処理及び送配水機能の信頼性と安定性の維持を図ります。
III-2 管路施設の計画的更新	計画整備課	配水支管更新延長について、目標達成度が79%と低い状況であるが、全国的にも重要な課題となっている老朽施設の更新、災害対策・耐震化の推進に向け、今後、鋭意推進を図ってもらいたい	工事単価が大幅に上昇したことから、管路事業全体の予算配分を見直し、基幹管路の更新を優先して行い、耐震化の向上を図ることとしています。このため、配水支管更新延長の達成度が低い状況となっています。
		工事単価の大幅上昇に伴い、今後の計画等に変更はないのか	前期実施計画の実施状況を踏まえ、財政計画と連動し、中期実施計画以降の見直しを行う必要があると考えています。
		有効性評価における外的要因加点の内容（やむを得ない根拠等具体的基準の有無）	外的要因とは、局の過失によるものではなく、局内部以外の要因によるものを想定し、評価が【C普通】未満の場合に加点することとしています。27年度であれば、積算基準の変更等による工事単価の上昇による予算配分の見直し、国による電力の固定価格買取制度の変更による事業者の撤退等がそれに当たります。
IV-2 管路施設の計画的耐震化	計画整備課	有効性評価における「III-2 管路施設の計画的更新」と相違点は	それぞれの評価指標は、耐震化適合率と更新延長としています。なお、水需要減少社会における管路整備は新設を最小化し、更新に大きくシフトしており、そのため計画的に管路施設の耐震化を進めることは、既設管路を更新することになります。

事業・取り組み	所管課	ご質問内容	回答
IV-3 重要施設向け配水管の耐震化	計画整備課	入札不調により一部工事の繰り越しが発生したとのことであるが、配水管路の耐震化は、全国的にも重要な課題となっているため、基幹施設の耐震化と併せ、近隣水道事業者の模範となって、鋭意推進を図ってほしい	今後も早期の工事発注に取り組み、繰り越し工事の抑制を図ります。
IV-6 事故・災害時における復旧体制の強化	経営管理課	マニュアル改定の実効性及びその浸透についての検証はどのように実施するか	マニュアルの改定については、マニュアルに沿った防災訓練を実施し、終了後、内容の検証、見直しを行っています。また、局内の危機管理・防災体制説明会等を定期的に（4回/年）開催し浸透を図っています。
V-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	営業課	料金収納以外に委託できる業務の検討は行われているのか	新たな委託の計画はありませんが、民間活力導入は、経営基盤の強化を図る上で、重要な課題の一つと考えており、引き続き、委託可能な業務の検討を進めていきます。
VI-1 戦略的な広報の実施	総務課	水先案内” No.70夏号から、有料広告が掲載されているが、市民の反応は得られたか。その選抜方法は？	市民の反応については、まだ始めたばかりなので、今のところ、市民の方から有料広告についてのご意見等はいただけておりません。 有料広告の選抜方法は、その代理店機能を業者に委託しています。掲載を希望する会社等が、広報紙の委託業者に広告掲載を依頼し、委託業者から広告掲載依頼書を提出いただき、当局が承認します。
VI-2 お客さまの意見・要望の把握	総務課	苦情・要望等の蓄積とその対応結果等情報の管理、施策への反映はどのようにしているのでしょうか。意見・要望把握後の施策とそのPDCAが重要。	苦情・要望等については、お客さまアンケートや水道モニターからいただくもののほか、日々、コールセンターに寄せられたものを集計し蓄積しています。対応については、各担当課で個別に対応し、その対応結果についても、局内で情報共有しています。
		アンケート等を有効に活用しているか。また、実施内容等を見直す必要はないか。	直近では平成26年度にお客さまアンケート調査を実施しております。アンケート結果については、局内で情報共有するほか施策検討に利用します。 ホームページ上でも公表し、市民の皆さまも見れるようになっています。アンケート中の自由意見などで記載されたご意見のうち、実行可能なものは各課ごとに実施しています。例えば、平成27年度は封筒の裏面を活用した広報を実施いたしました。 また、今年度実施するアンケート調査は現在準備を進めているところですが、調査票の内容についても、現況に合わせ見直しを進めているところです。
VII-2 諸外国との水道技術研究交流	総務課	金額的にも人材育成にコストが伴うことは容認できますが、研修派遣者数を目標としているため、予算超過が発生していると看取される	新・マスタープランの目標設定では、各年度最低2人は国際会議等に参加し、国際的な視野と見識を持った人材の育成を図ることとしています。そのため予算も2人分を計上していましたが、H27年度は国際会議等が重なったため、結果的に予算超過が発生してしまいました。今後は、情報収集に努め、当初より適正な予算計上に努めます。